

# 桑名市五反田事案 支障除去対策事業

## 第6回 効果検証委員会

令和3年9月14日  
廃棄物適正処理プロジェクトチーム

# 目 次

1	報告事項	
1-1	これまでの経緯等	P 3 ~ P11
1-2	1,4-ジオキサン浄化対策の進捗状況	P 12 ~ P21
1-3	遮水壁北側近傍における1,4-ジオキサン浄化促進について	P 22 ~ P30
2	協議事項	
2-1	水処理施設の撤去について	P 31 ~ P35
2-2	支障除去等事業完了後のモニタリングについて	P 36 ~ P40
3	今後のスケジュール	P 41 ~ P42

# 1 報告事項

## 1-1. これまでの経緯等

## 1-1-1 対策事業の経緯等

平成23年度～平成24年度	緊急対策着手（旧施設（60m <sup>3</sup> /日）に促進酸化設備設置、遮水壁内外の揚水浄化実施（H24.3～））
平成25年度～	恒久対策着手（平成25年3月26日 環境大臣変更同意）
平成28年10月	廃棄物残置エリアの遮水壁補強工完了
平成29年1月	第1回効果検証委員会（廃棄物等の掘削・揚水浄化について）
平成29年11月	廃棄物撤去エリアの廃棄物撤去完了
平成31年2月	第2回効果検証委員会（井戸設置・揚水浄化について）
平成31年4月	新水処理施設（19m <sup>3</sup> /日）完成（新旧合計 79m <sup>3</sup> /日）
令和元年6月	第3回効果検証委員会（井戸設置・揚水浄化について）
令和2年2月～令和3年2月	注水試験実施（北側：R2.2～R3.2、南側：R2.11～R3.2）
令和2年4月	第4回効果検証委員会（井戸設置・注水試験について）※書面開催
令和2年7月	第3帯水層の揚水停止
令和2年12月	第5回効果検証委員会（支障除去対策の終了に向けた評価手法について）※Web開催
令和3年4月	揚水全停止（～令和3年9月）
<b>令和3年9月</b>	<b>第6回効果検証委員会 ※水処理施設の撤去について、支障除去等事業完了後のモニタリングについて</b>

## 1-1-2 事案地の現況（航空写真）



令和2年2月撮影

# 1-1-3 第5回効果検証委員会（令和2年12月）の概要

## 1 報告事項

### 1-1 事案地の概況（R2.8時点）

第1帯水層 環境基準に適合（H23以降、環境基準に適合）

第2帯水層 遮水壁北側近傍及び南東側エリアに汚染残留

第3帯水層 遮水壁北側近傍及び南側エリアに汚染残留

## 2 協議事項

### 2-1 支障除去の評価手法

支障除去エリアを2つに区分

**エリア①の濃度年平均値が環境基準を満足（令和4年度末時点） → 特措法事業終了**（7ページ）

※個別の井戸で評価するのではなく、エリアごとに存在する全ての井戸から年平均値を算出する。

（8ページ）

### 2-2 揚水の停止・再開及びモニタリング

R3.4～R3.9 : 揚水停止

R3.10～R4.6 : 揚水再開（最大9カ月間 揚水実施）

（モニタリング地点：エリア①及びエリア②全井戸、エリア外（河川北側等）井戸、河川水）

※壁内：管理値（0.5mg/L）適合。モニタリング継続（参考資料②）

### 2-3 汚染残留箇所（遮水壁北側近傍）の対策

**浄化促進井戸を設置したうえで、令和3年12月から令和4年6月  
まで、最大7カ月間 揚水浄化を実施。**

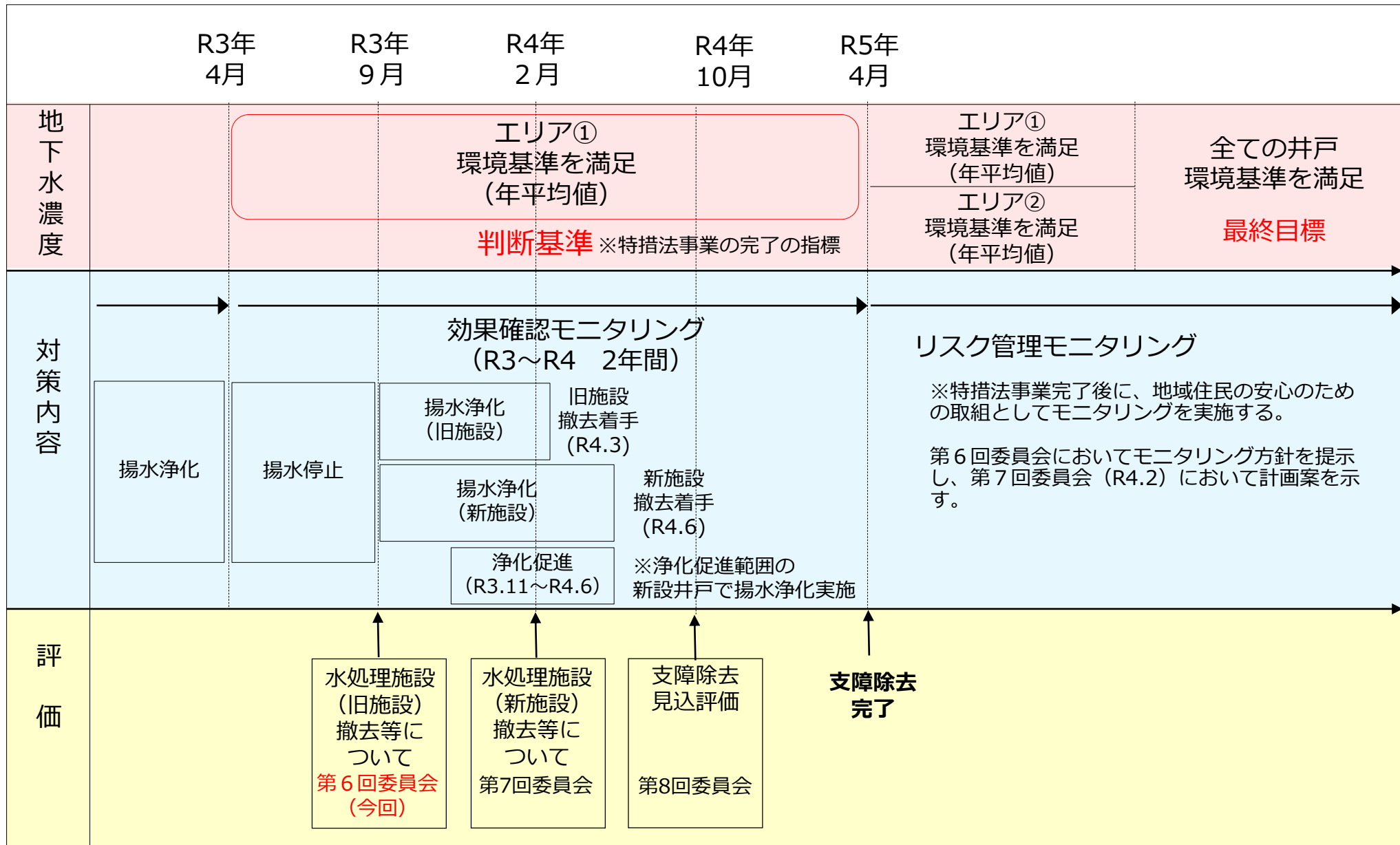
（22～31ページ）

### 2-4 水処理施設の撤去について

**第6回委員会における協議事項**

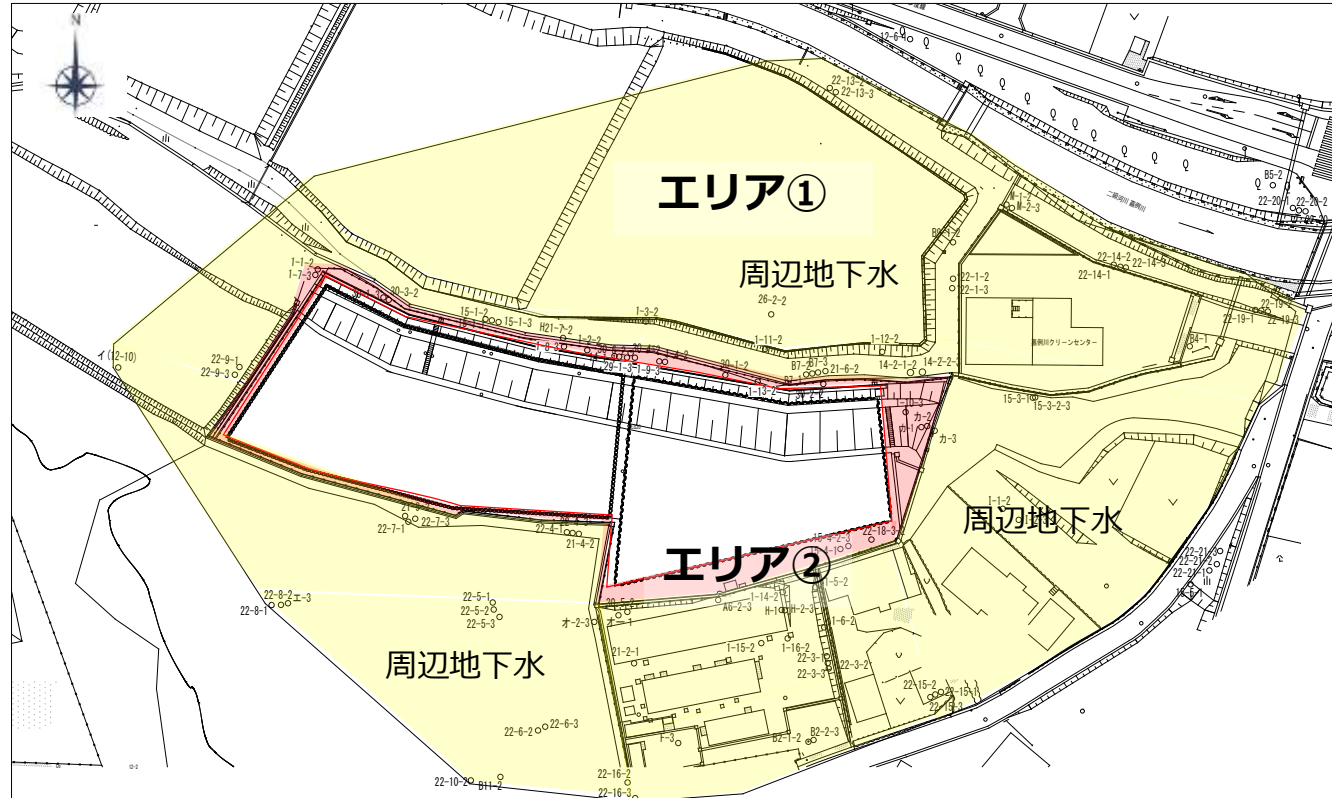
（35～38ページ）

# 1-1-4 第5回効果検証委員会（令和2年12月）の概要



# 1-1-5 第5回効果検証委員会（令和2年12月）の概要

## エリア区分



エリア①  
支障除去実施の範囲  
(エリア②を除く)

エリア②  
遮水壁近傍エリア

(事業完了後も一定のリスク  
管理が可能な範囲(土地の形  
質変更の制限等))

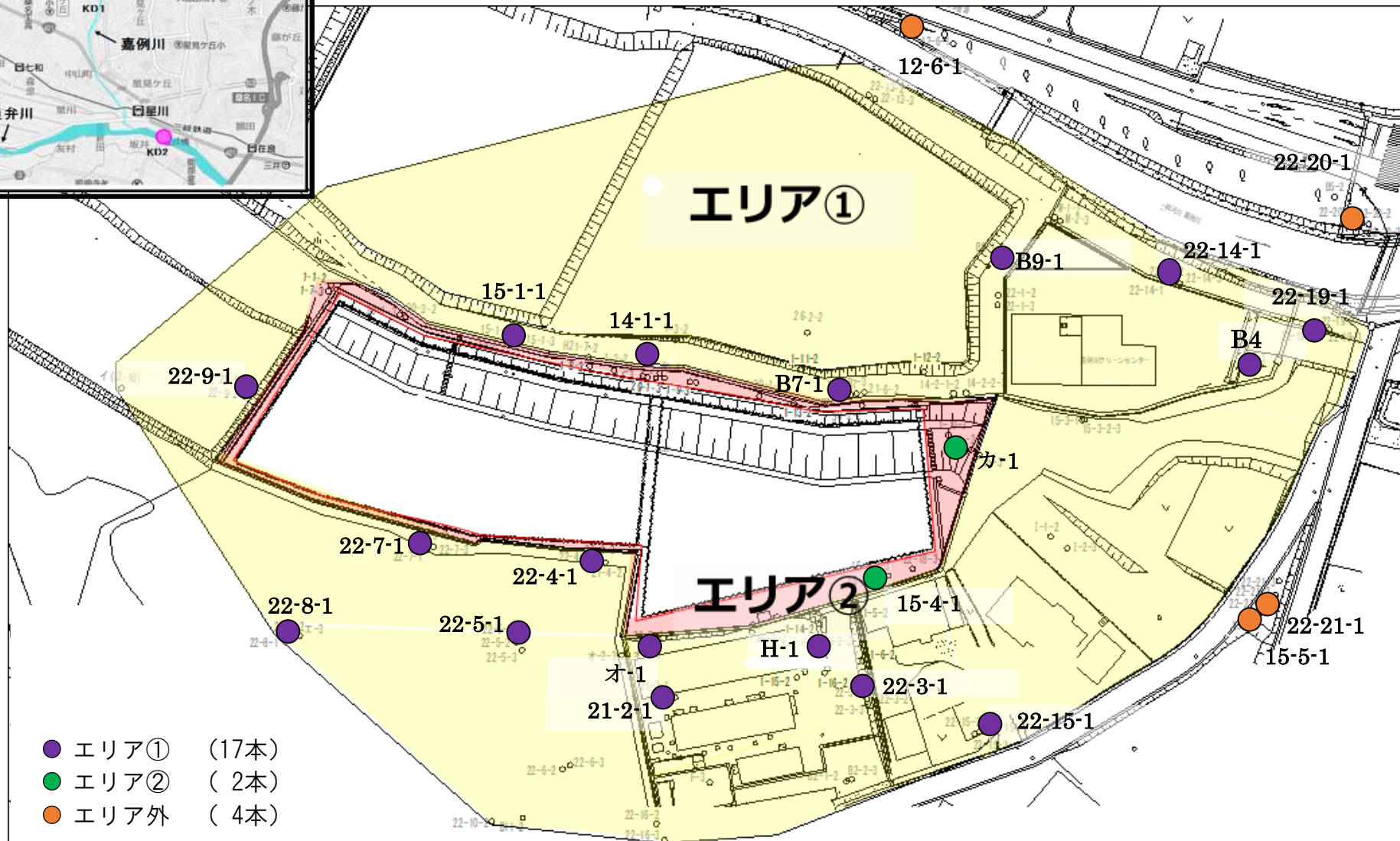
↑  
【今回修正】

第5回委員会における委員意見に基づき、分かりやすい表現に修正しました。

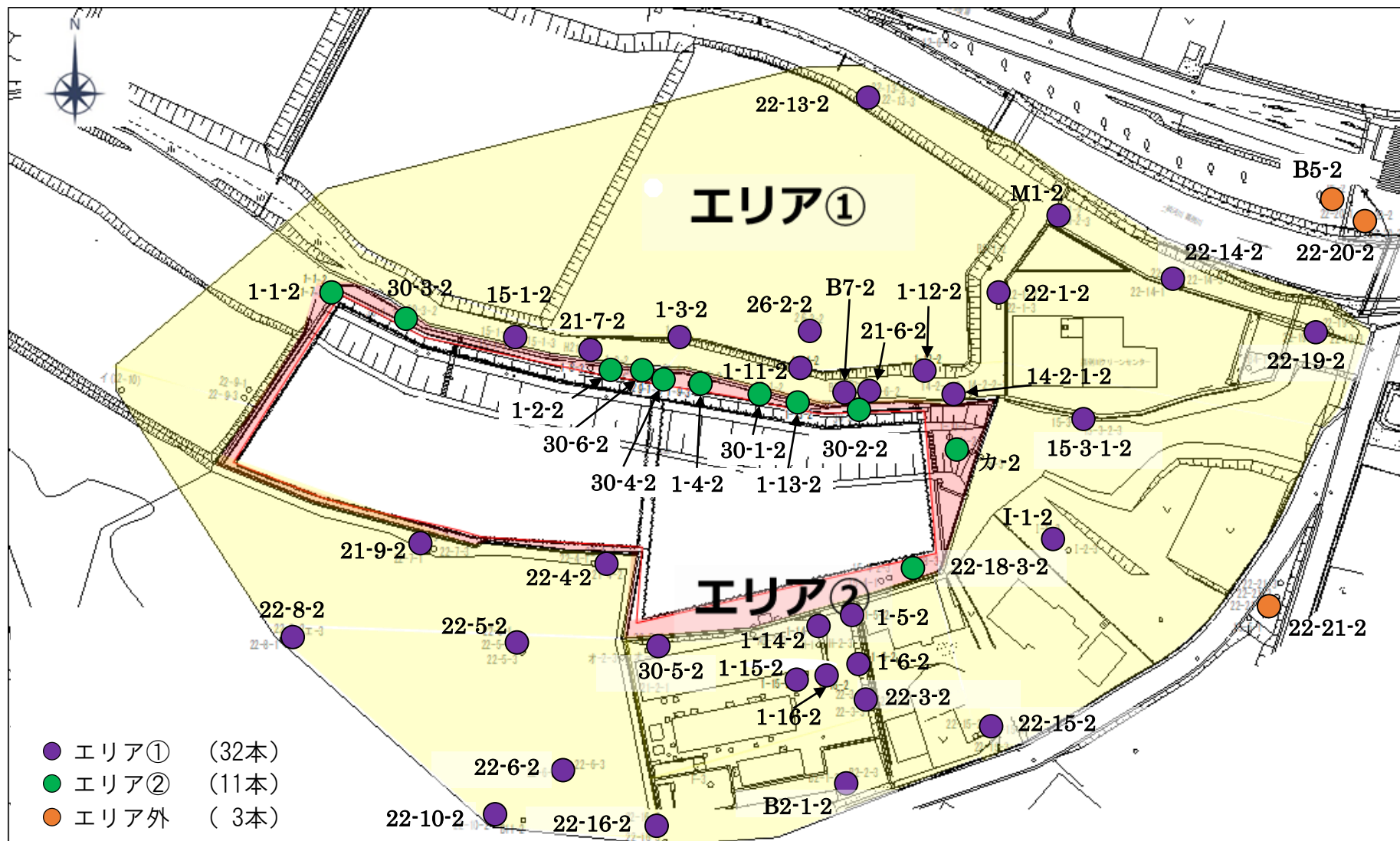
<エリア区分理由> ※前回表現  
エリア②は、令和5年度以降、遮水壁内と一体的に廃棄物処理法に基づく指定区域に指定することにより、土地改変等の利用を制限する区域となる。県による一定のリスク管理が可能となることから、エリア①と同様に評価することが必ずしも適当であるとまでは考えられないため、エリアを区分した。



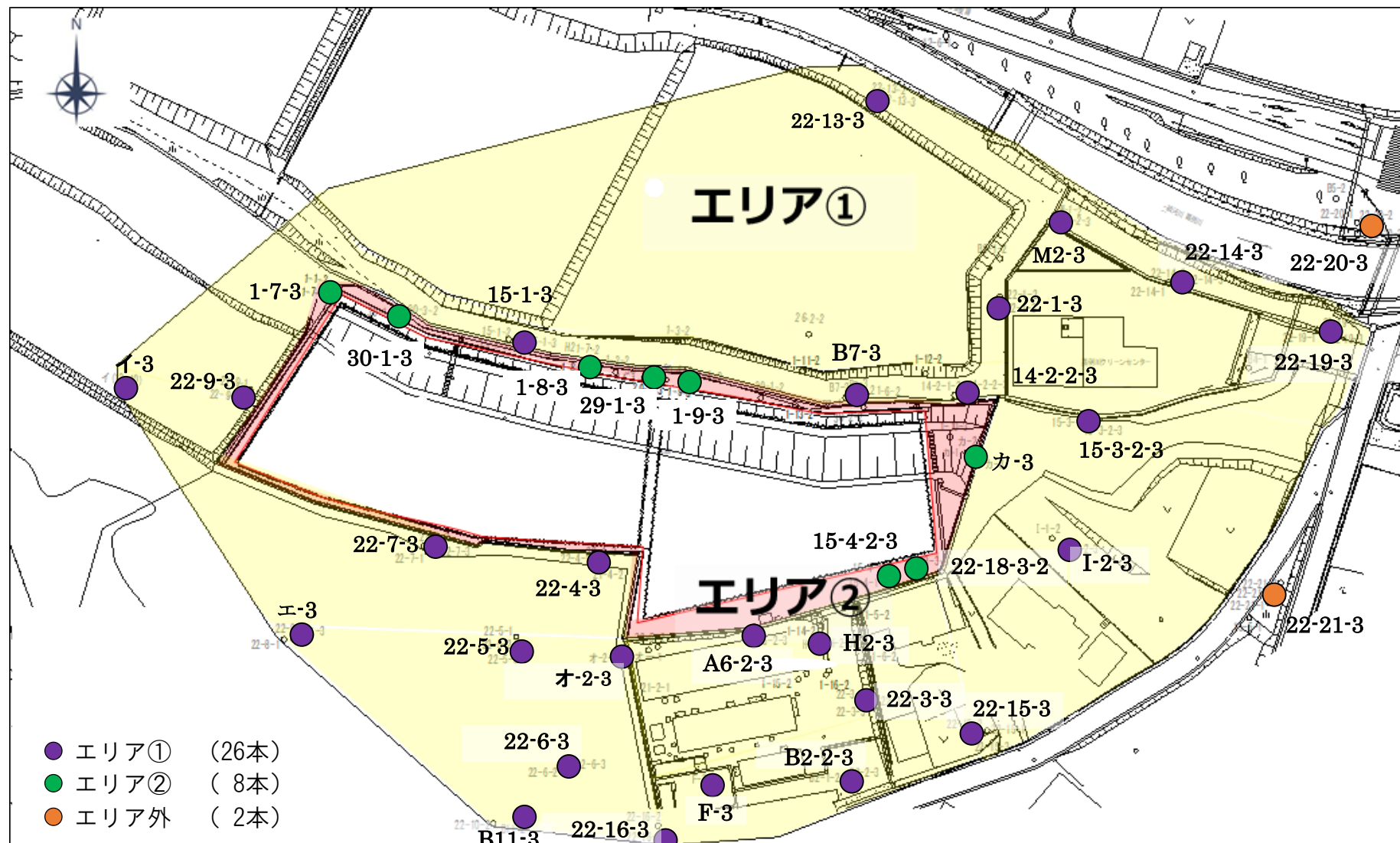
# 1-1-6 河川水、遮水壁外 第1帯水層 モニタリング地点



# 1-1-7 遮水壁外 第2帯水層 モニタリング地点



# 1-1-8 遮水壁外 第3帯水層 モニタリング地点

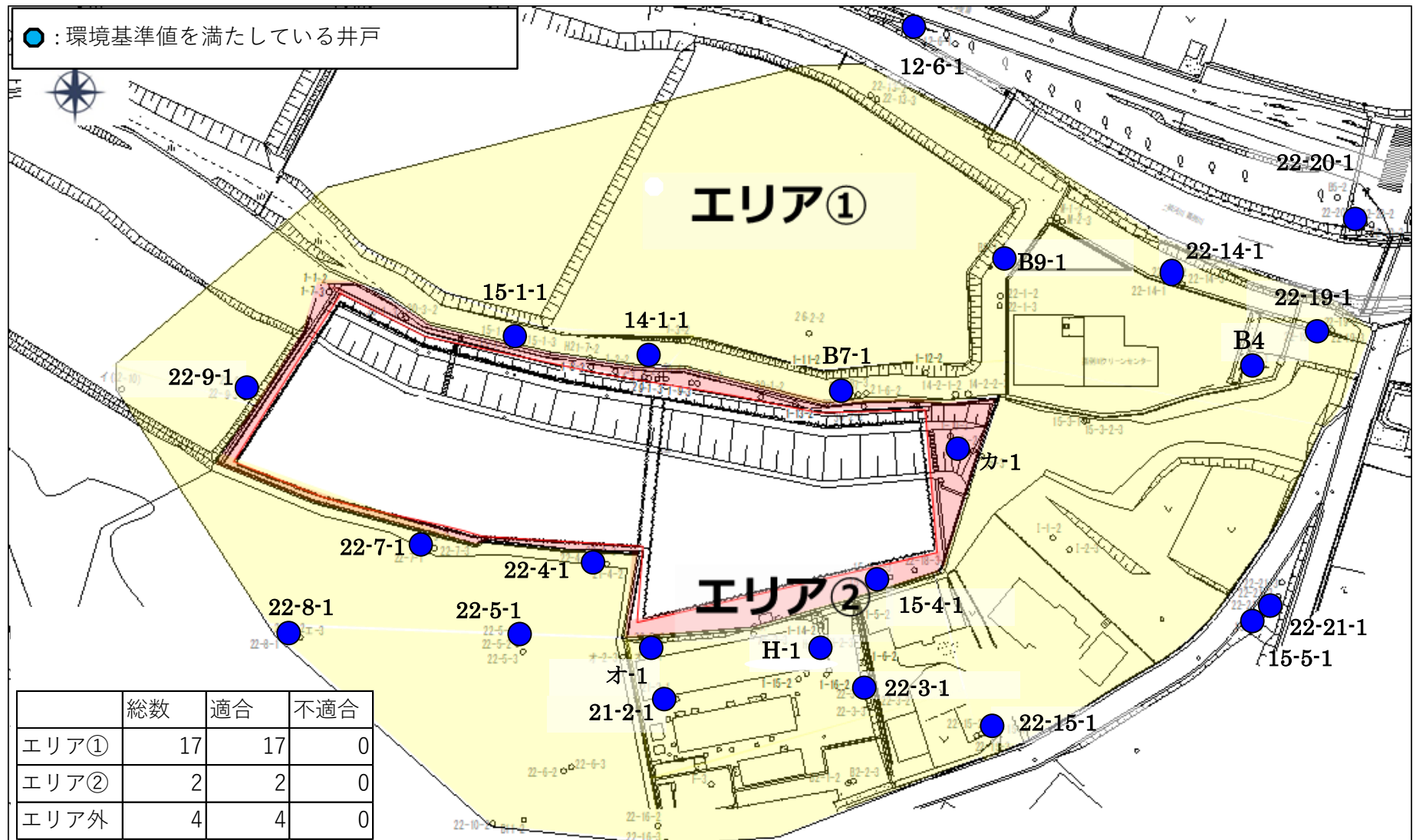


# 1 報告事項

## 1-2. 1,4-ジオキサン浄化対策の進捗状況

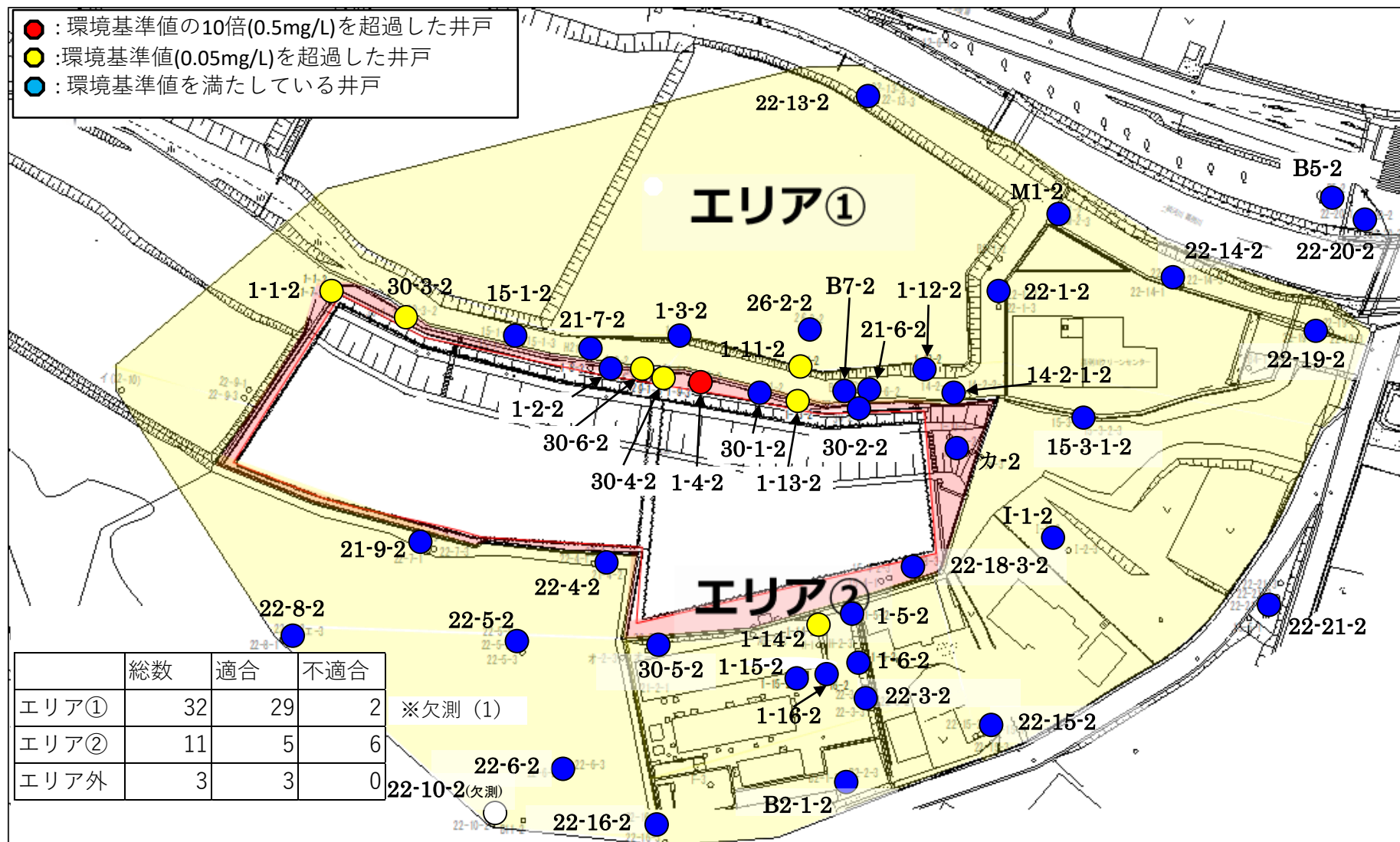
# 1-2-1 遮水壁外 第1帯水層 1,4-ジオキサン濃度の状況 (令和3年5月)

- ・平成23年度以降、環境基準に適合 (環境基準の1/10以下で推移)
- ・令和3年度(5月)・・・全地点で環境基準(0.05mg/L)に適合(環境基準の1/10以下)  
※揚水停止中



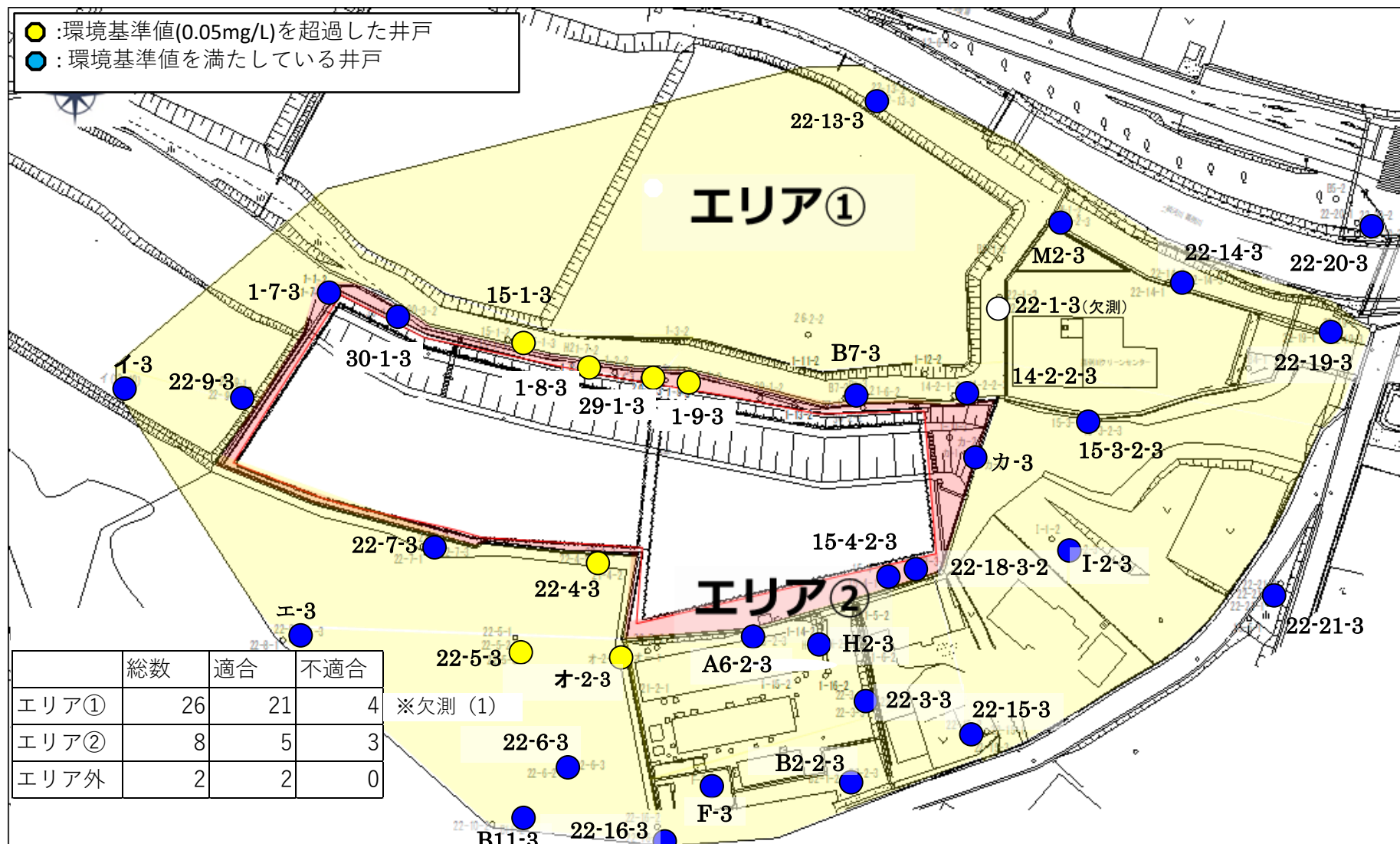
# 1-2-2 遮水壁外 第2帯水層 1,4-ジオキサン濃度の状況 (令和3年5月)

・令和3年度(5月)・・・主に遮水壁北側近傍において環境基準(0.05mg/L)超過がみられる。  
 ※揚水停止中



# 1-2-3 遮水壁外 第3帯水層 1,4-ジオキサン濃度の状況 (令和3年5月)

・令和3年度(5月)・・・遮水壁北側近傍及び南側において環境基準(0.05mg/L)超過がみられる。  
 ※揚水停止中







# 1-2-4 遮水壁外 第2帯水層 1,4-ジオキサン浄化の推移

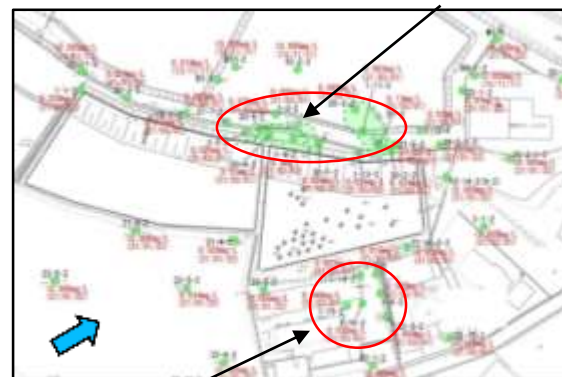
令和2年8月（第2期注水試験後）  
 <北側エリア> 遮水壁沿いに汚染が残る  
 R2年2月～R3年2月まで注水試験を実施



<南東側エリア> 浄化の進捗が鈍化傾向  
 R2年11月～R3年2月まで注水試験を実施  
 基準超過面積：416㎡

令和2年2月～令和3年2月  
 注水試験実施

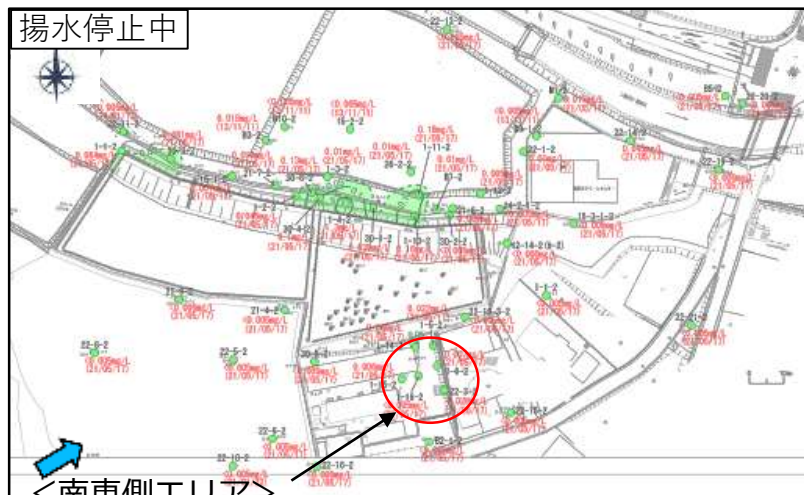
令和3年3月（注水試験終了後）  
 <北側エリア> コンターが縮小



<南東側エリア> コンターが消滅  
 基準超過面積：289㎡

令和3年5月（揚水停止後1か月）

令和3年4月  
 揚水停止



<南東側エリア> 1-14-2(0.06mg/L) 周辺にコンターが存在  
 基準超過面積：391㎡

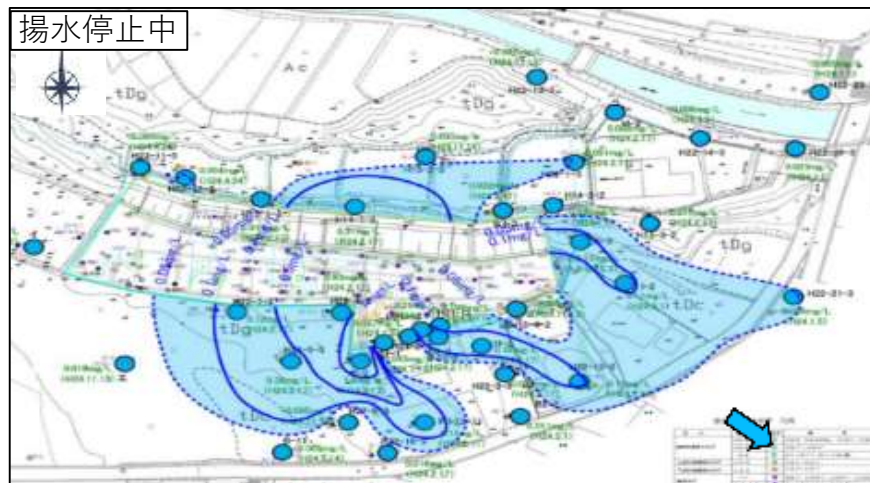
・南東側エリアは1-14-2(0.06mg/L) 周辺にコンターが存在

・遮水壁北側近傍は引き続き汚染が残留

		基準超過面積(m <sup>2</sup> )
平成24年2月	恒久対策事業着手前	3,577
平成28年9月	廃棄物撤去前	2,717
令和2年1月	廃棄物撤去後	1,197
令和2年8月	第2期注水試験後	416
令和3年3月	注水試験終了後	289
令和3年5月	揚水停止後1か月	391

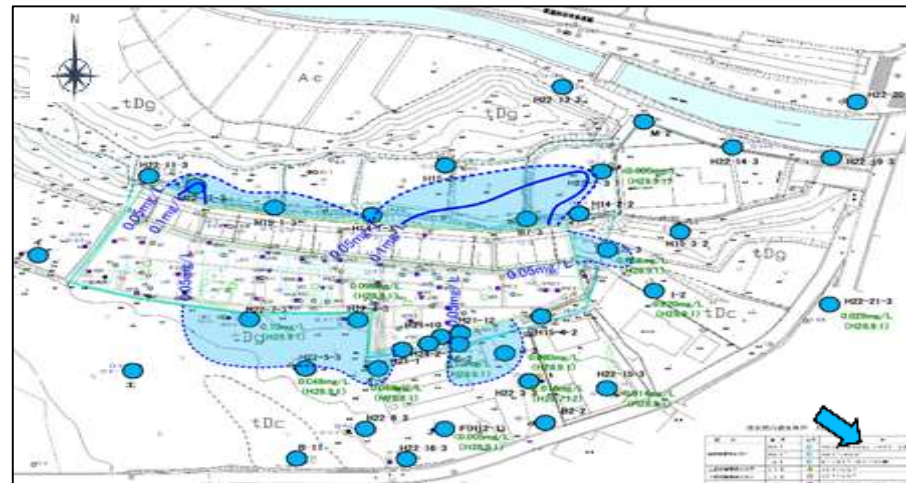
# 1-2-5 遮水壁外 第3帯水層 1,4-ジオキサン浄化の推移

平成24年2月（恒久対策事業着手前）



基準超過面積：6,428㎡

平成28年9月（廃棄物撤去前）



基準超過面積：2,514㎡

令和2年1月（廃棄物撤去後）



基準超過面積：178㎡

令和2年7月

揚水停止

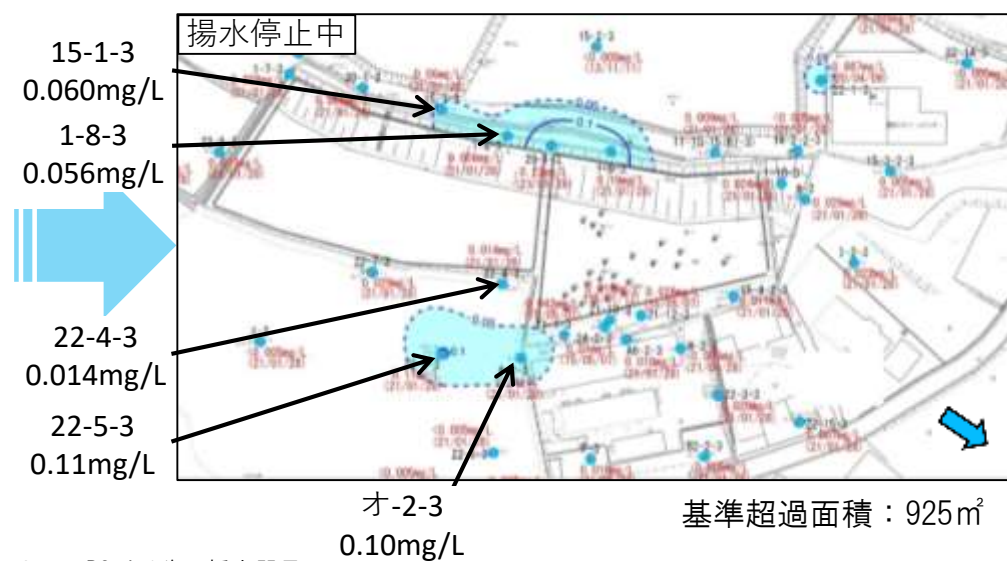
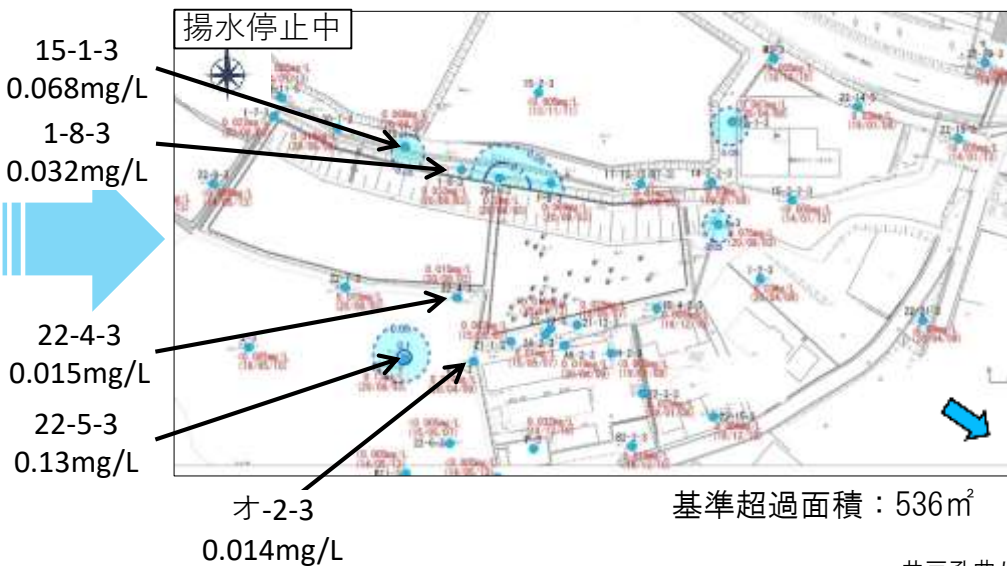


※R2年2月に概ね全ての井戸で環境基準レベルまで浄化が図られたため、R2年7月から揚水停止

# 1-2-5 遮水壁外 第3帯水層 1,4-ジオキサン浄化の推移

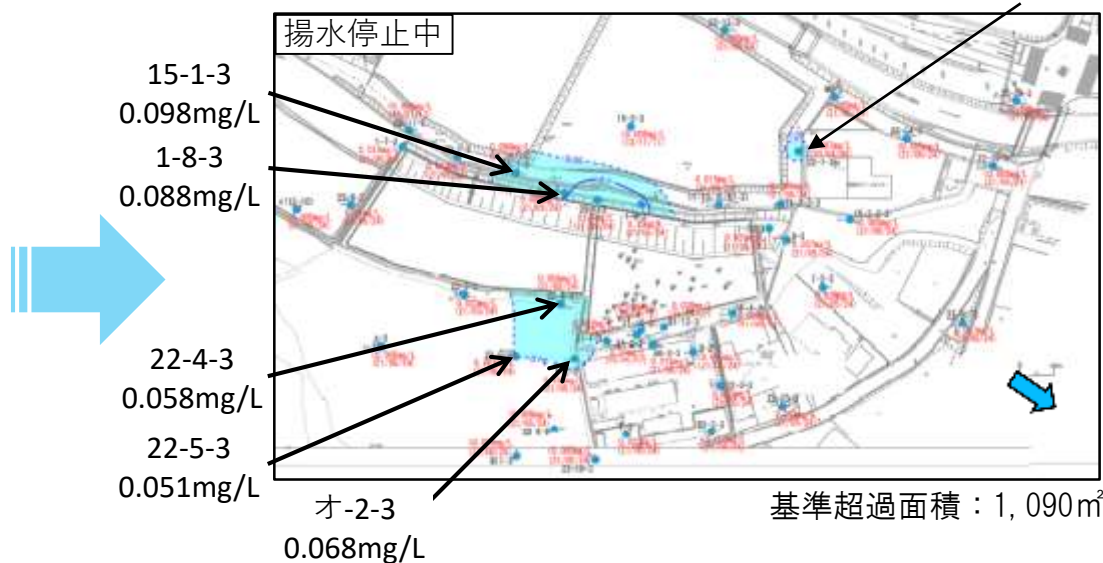
令和2年8月（揚水停止後1カ月）

令和3年1月（揚水停止後7カ月）



井戸孔曲りにより、R2.4以降 採水器具（ペーラー）による採水ができない状態。代替の揚水方法によりR3.8にモニタリングを再開する。(22-1-3)

令和3年5月（揚水停止後11カ月）



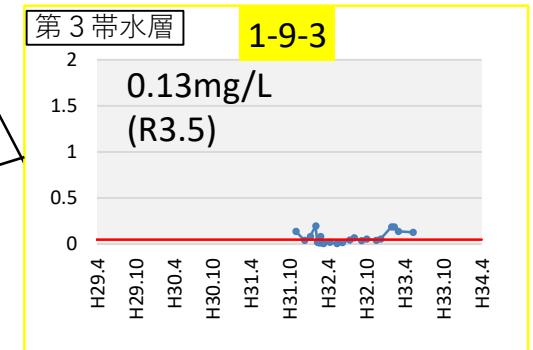
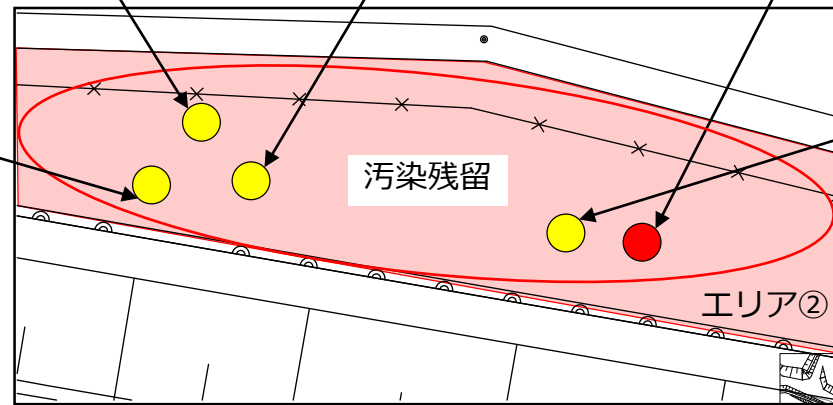
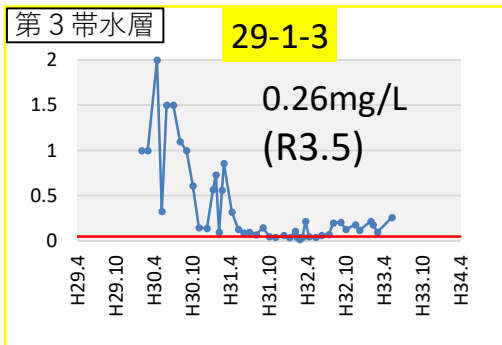
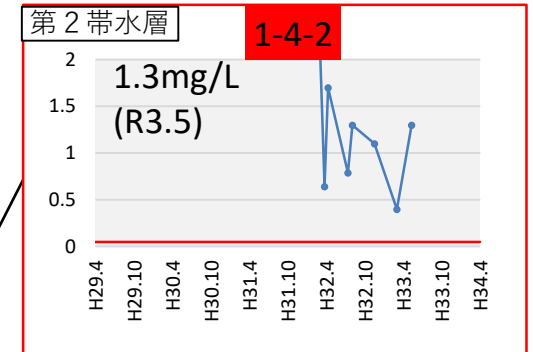
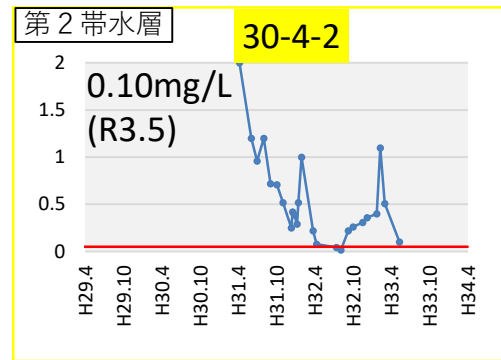
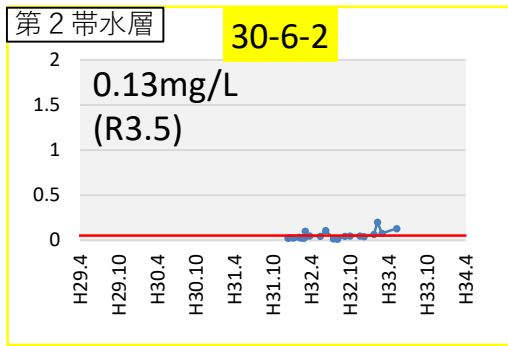
南側は環境基準に近い濃度で推移

・揚水停止後（R2.7～）、遮水壁北側近傍及び南側において濃度の上昇が見られる箇所があるものの環境基準付近の濃度で推移している。

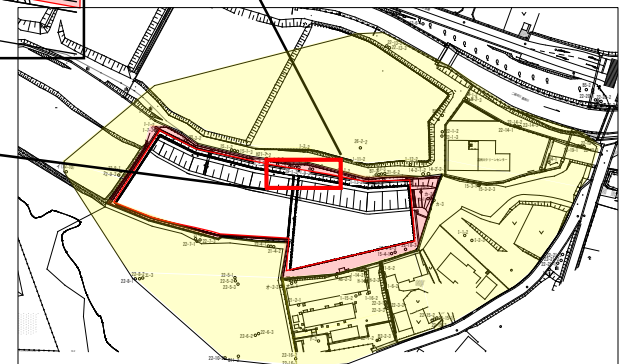
		基準超過面積(㎡)
平成24年2月	恒久対策事業着手前	6,428
平成28年9月	廃棄物撤去前	2,514
令和2年1月	廃棄物撤去後	178
令和2年8月	揚水停止後1カ月	536
令和3年1月	揚水停止後7カ月	925
令和3年5月	揚水停止後11カ月	1,090

# 1-2-6 遮水壁外の井戸別の浄化状況について（令和3年5月時点）

・遮水壁北側近傍の第2及び第3帯水層（下図）に汚染の残留が見られる



- : 環境基準値の10倍(0.5mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸



# 1-2-7 遮水壁外のエリア別の浄化状況について（令和3年5月時点）

エリア①  
全帯水層で環境基準（0.05mg/L）年平均値に適合している。

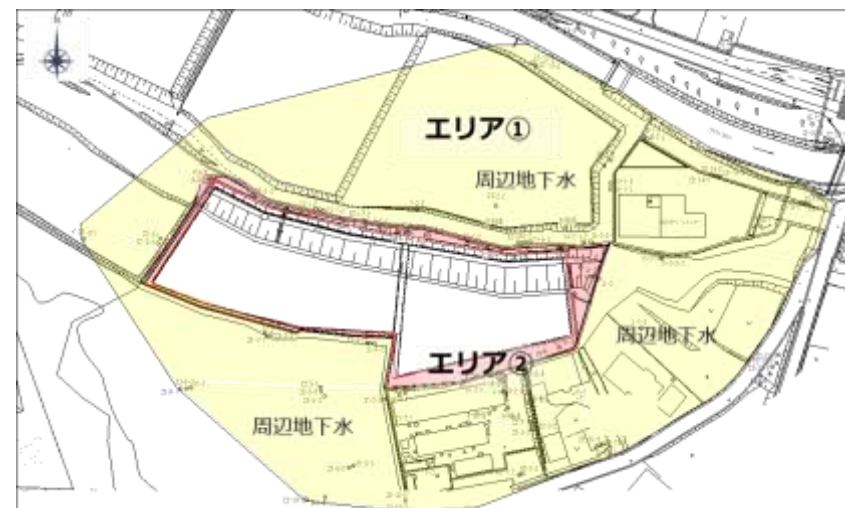
→（現時点においても特措法事業終了の判断基準に適合している）

エリア②  
**遮水壁北側近傍の第2及び第3帯水層で環境基準（年平均値）超過がみられる。** → 浄化促進を実施

※年平均値は5月、8月、11月、2月のモニタリング結果から算出する。

	エリア①		エリア②	
	濃度 (mg/L)	井戸数	濃度 (mg/L)	井戸数
第1帯水層	<0.005	17	<0.005	2
第2帯水層	0.016	32	0.18	11
第3帯水層	0.019	26	0.072	8

エリア別の濃度平均値  
(令和3年5月のみ)



# 1 報告事項

## 1-3. 遮水壁北側近傍における 1,4-ジオキサン浄化促進について

# 1-3-1 井戸設置工事について

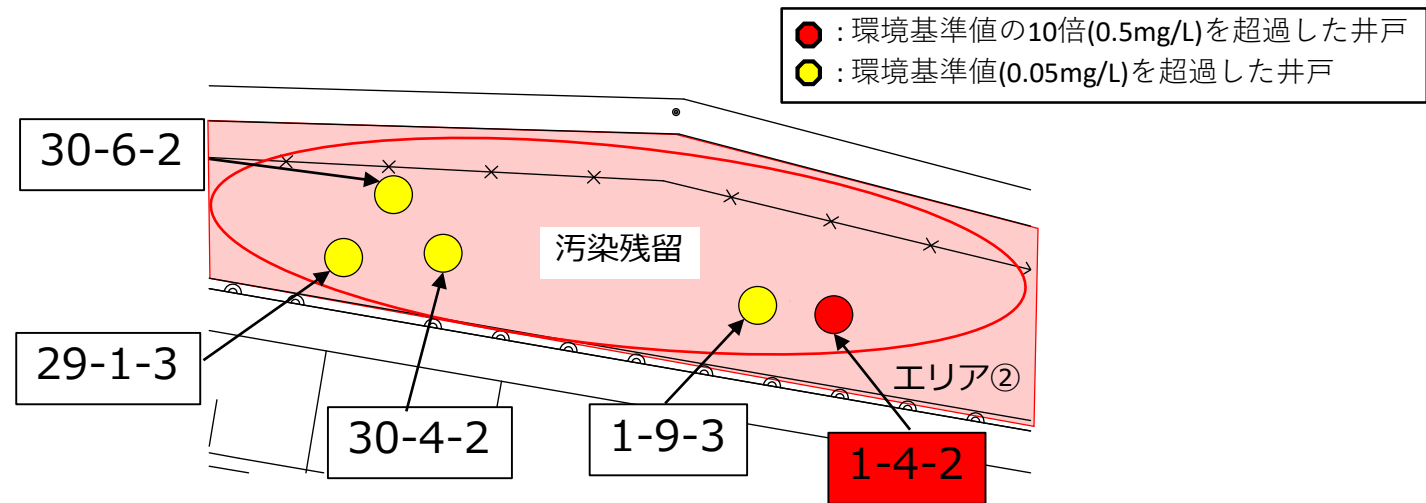
## <第5回委員会>

エリア②の遮水壁北側近傍における揚水浄化等の実施にあたっては、令和3年夏頃までの濃度状況を注視し判断する。



## <対応>

令和3年5月（揚水停止後1カ月）時点で汚染の残留が見られることから、井戸（1-4-2、30-4-2、30-6-2、29-1-3、1-9-3）を含む区間において掘削部分に井戸を設置し揚水浄化を行う。



エリア② 遮水壁北側近傍

# 1-3-2 井戸設置工事について

## ①井戸設置時期・工法

掘削及び井戸設置工事は令和3年11月に実施予定。工期、施工性、費用をふまえ「オールケーシング工法」を基本に実施する。掘削イメージは下図のとおり。

## ②掘削深度

- ・調査ボーリング結果 (R3.7) . . . 第2-第3帯水層間の不透水層に汚染残留が見られる (26,27ページ)
- ・地下水モニタリング結果 (R3.5) . . . 第3帯水層に汚染残留が見られる (27ページ)

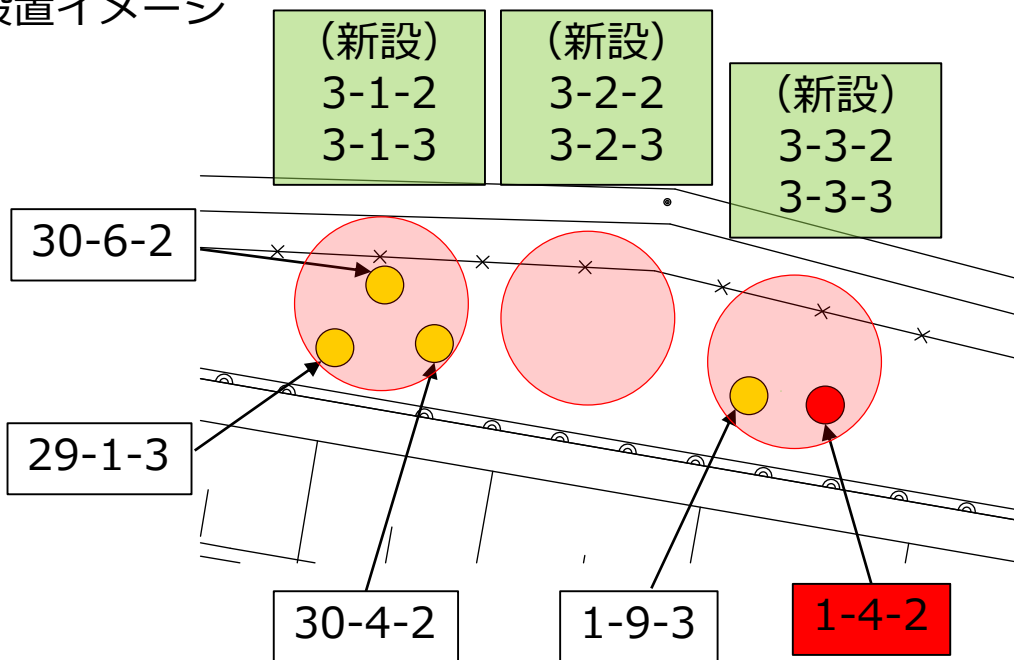
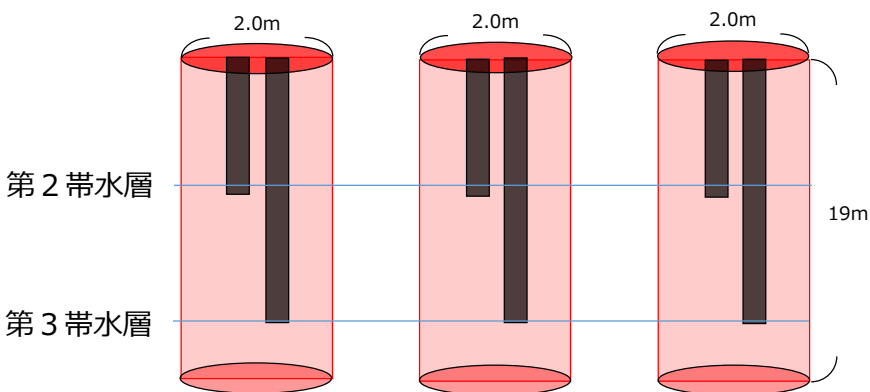
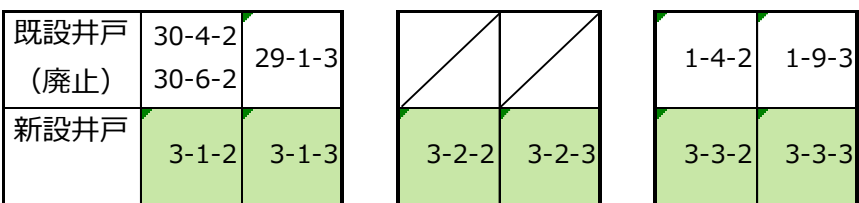


GL-19m (第3帯水層下の不透水層上部から5m下) を基本に掘削する。

## ③掘削後の揚水浄化

掘削部分に井戸を設置 (第2帯水層: 3本、第3帯水層: 3本) し、揚水浄化を行う。  
実施期間は最大7カ月を予定する。(工期の調整等により可能な限り実施する。)

### 井戸設置イメージ



- : 環境基準値の10倍(0.5mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸

※桃色部分: オールケーシングによる掘削。

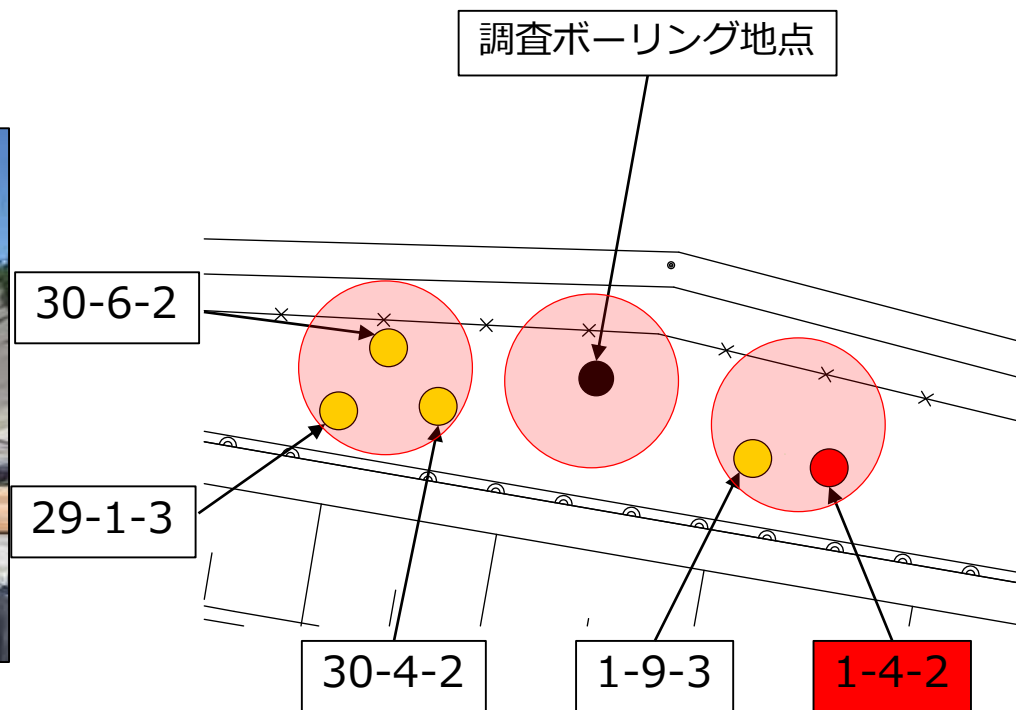


# 1-3-3 調査ボーリングについて

実施日 : 令和3年7月19日~20日  
目的 : 掘削深度の検討  
調査地点 : 汚染残留箇所 (30-4-2,1-4-2) の中間地点  
掘削深度 : GL-19m (第3帯水層下の不透水層まで)  
調査項目 : 1,4-ジオキサン (GL-4mからGL-19mまで1mごとに試料採取)

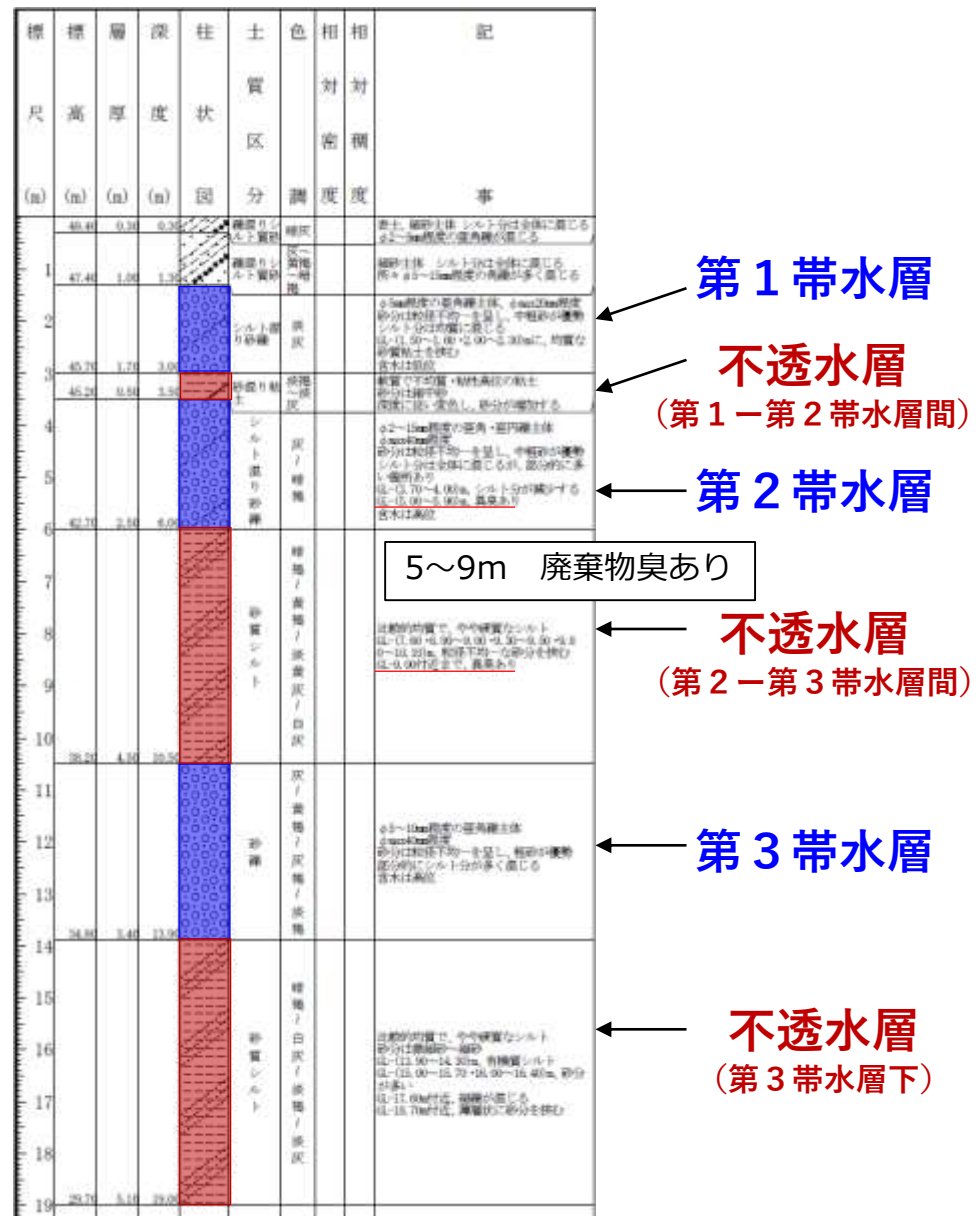
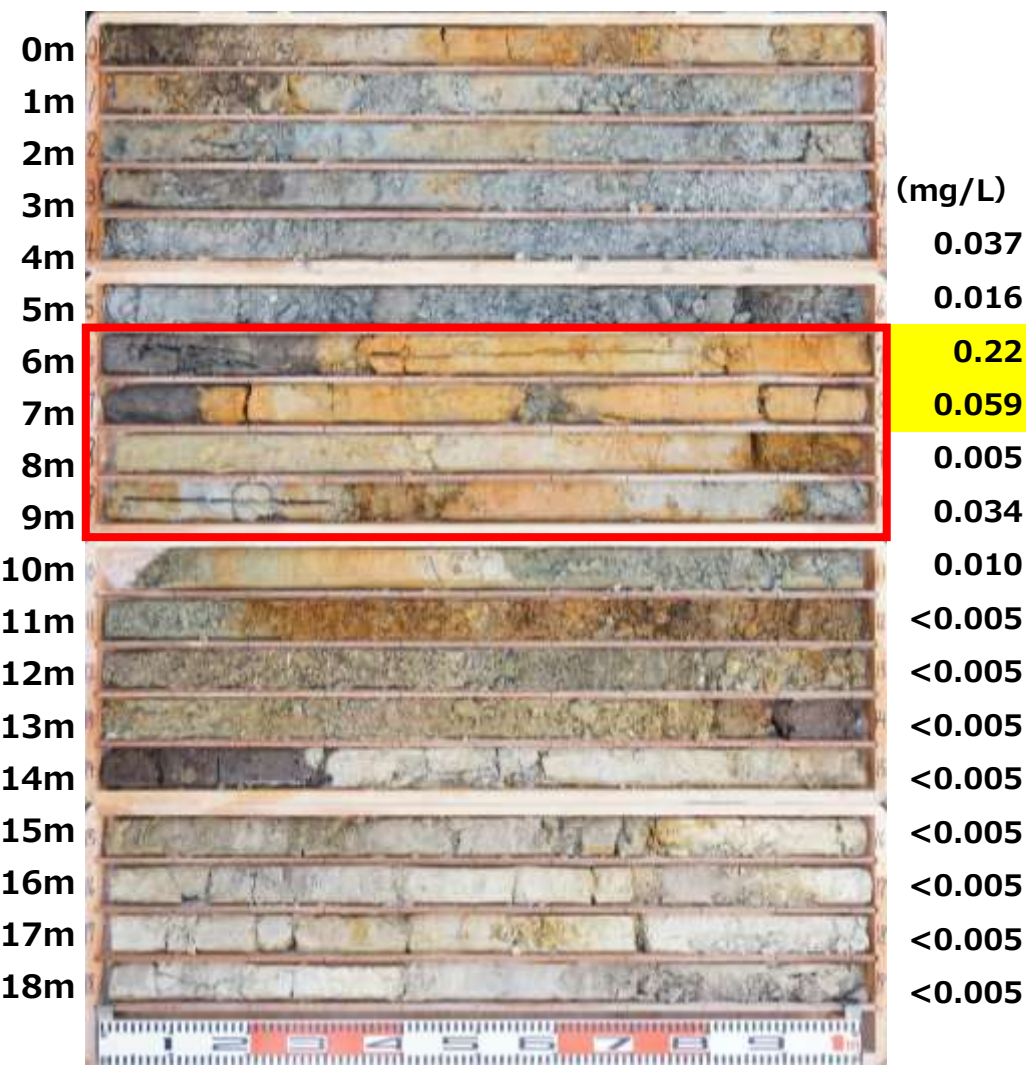


掘削状況



# 1-3-4 調査ボーリング結果について

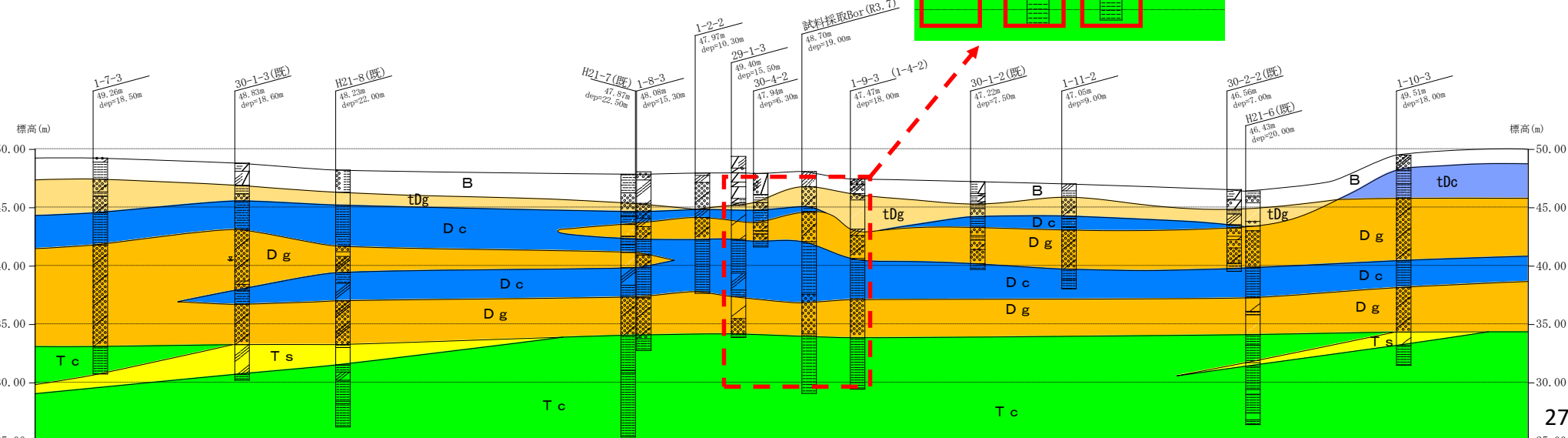
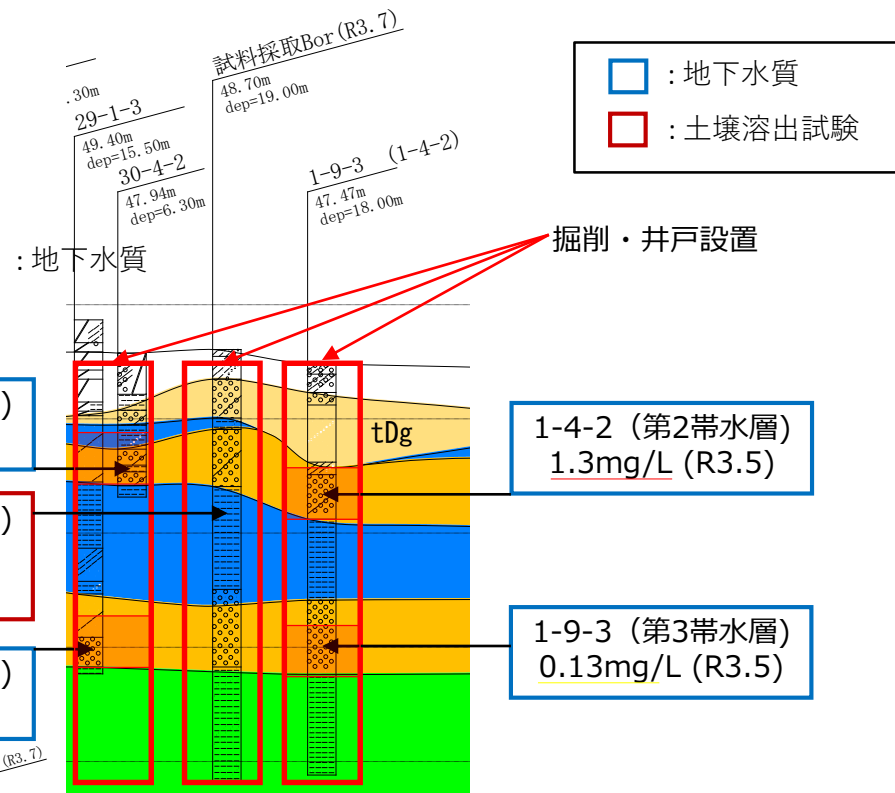
- ・第2 - 第3帯水層間の不透水層に環境基準を超える1,4-ジオキサン汚染の残留が確認された。
- ・第3帯水層以深に汚染は見られなかった。



# 1-3-5 遮水壁北側近傍の地質断面図について

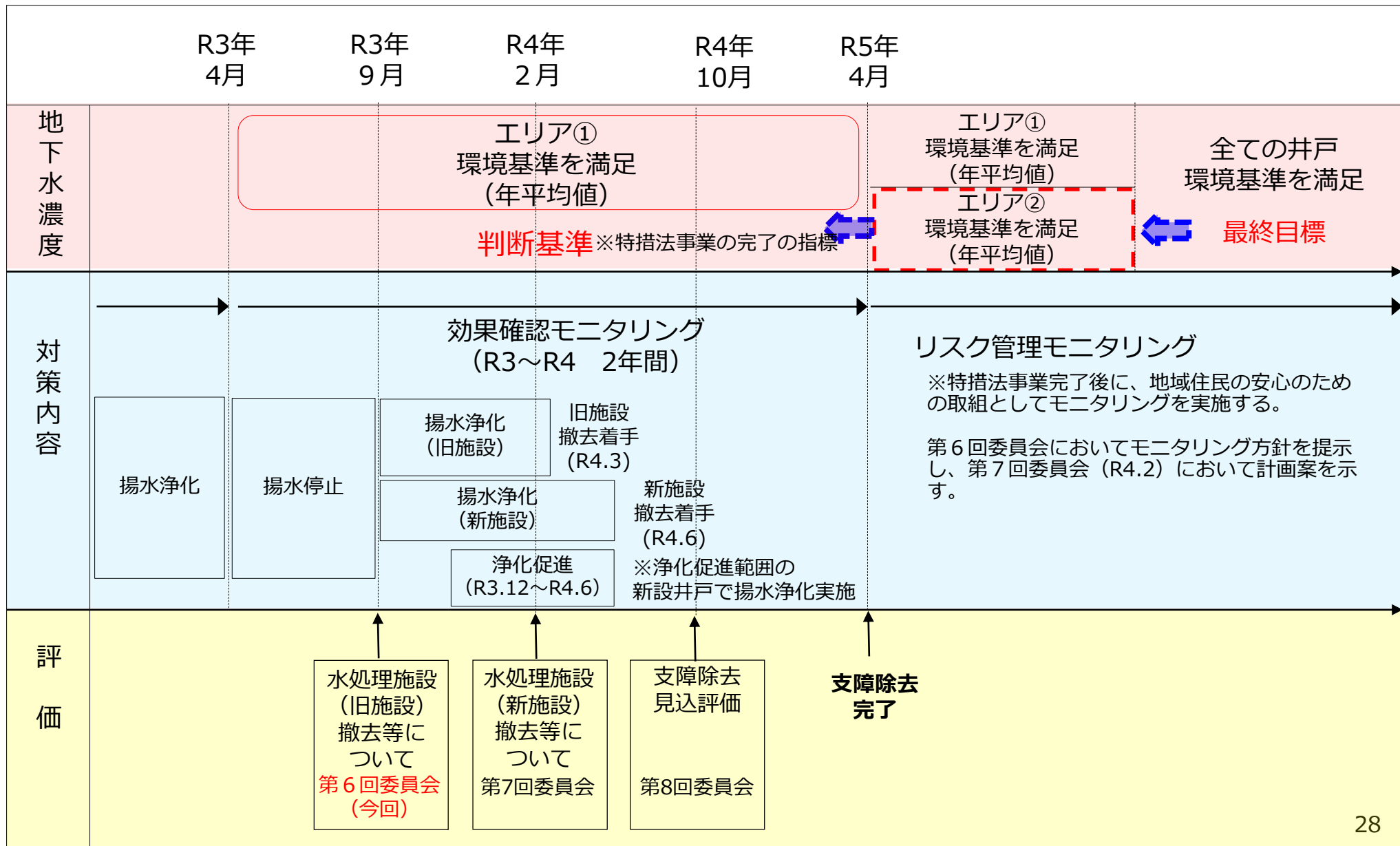
・第2、第3帯水層（地下水）及び、第2-第3帯水層間の不透水層（土壌）に汚染残留が見られることから、GL-19m（第3帯水層下の不透水層上部から5m下）を基本に掘削する。

・掘削範囲の地層は粘土層と砂礫層が入り組んだ構造となっていることに留意し井戸仕上する。



# 1-3-7 浄化促進により見込まれる効果について（エリア②）

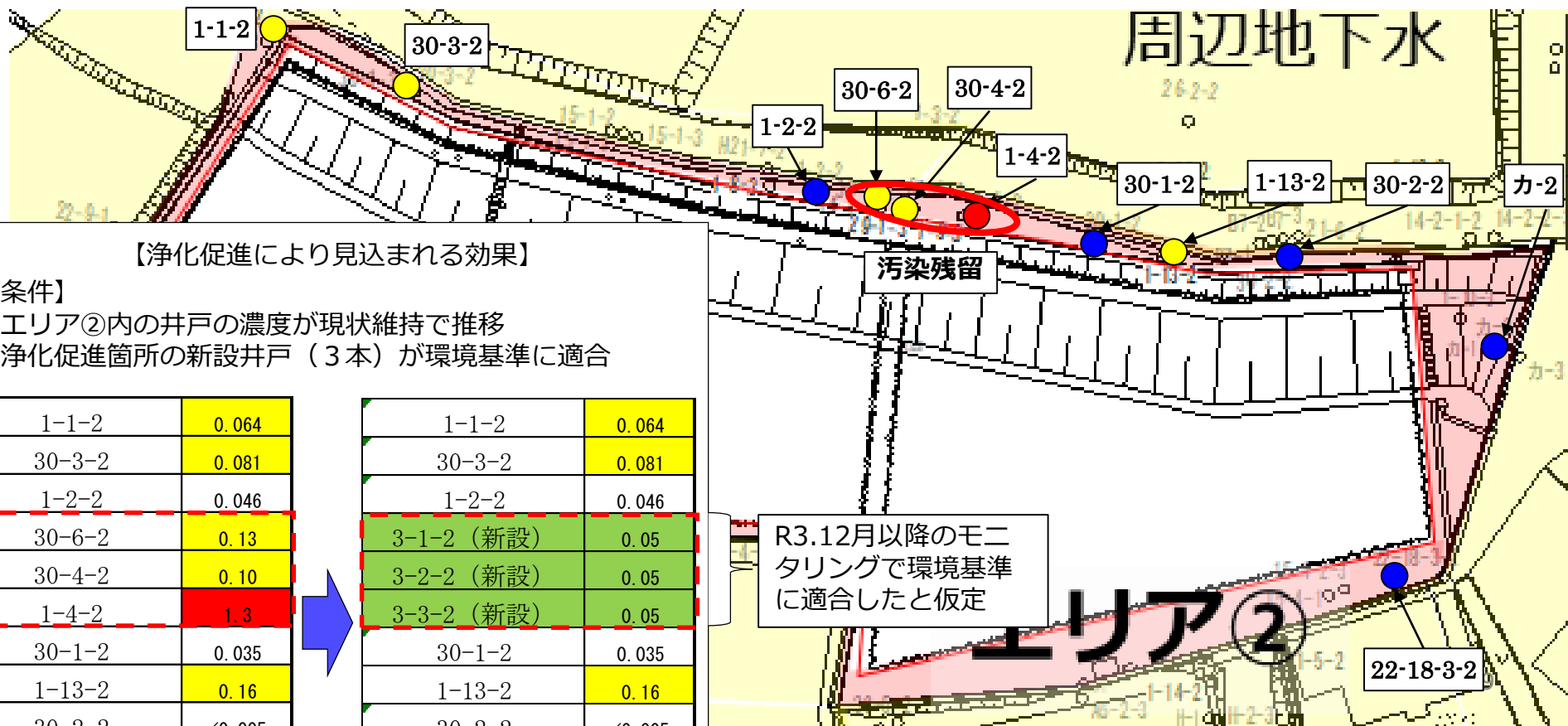
浄化促進により「エリア② 環境基準を満足（年平均値）」の早期達成が見込まれる。



# 1-3-8 浄化促進により見込まれる効果について (エリア② 第2帯水層)

掘削及び揚水浄化により汚染残留箇所の新設井戸がすべて環境基準に適合した場合、エリア② (第2帯水層) も環境基準 (年平均値) に適合することが見込まれる。

## 【現況 (R3.5)】



### 【浄化促進により見込まれる効果】

#### 【条件】

- ① エリア②内の井戸の濃度が現状維持で推移
- ② 浄化促進箇所の新設井戸 (3本) が環境基準に適合

1-1-2	0.064
30-3-2	0.081
1-2-2	0.046
30-6-2	0.13
30-4-2	0.10
1-4-2	1.3
30-1-2	0.035
1-13-2	0.16
30-2-2	<0.005
カ-2	<0.005
22-18-3-2	<0.005
エリア平均	0.18

R3.5 エリア平均

1-1-2	0.064
30-3-2	0.081
1-2-2	0.046
3-1-2 (新設)	0.05
3-2-2 (新設)	0.05
3-3-2 (新設)	0.05
30-1-2	0.035
1-13-2	0.16
30-2-2	<0.005
カ-2	<0.005
22-18-3-2	<0.005
エリア平均	0.05

環境基準に適合

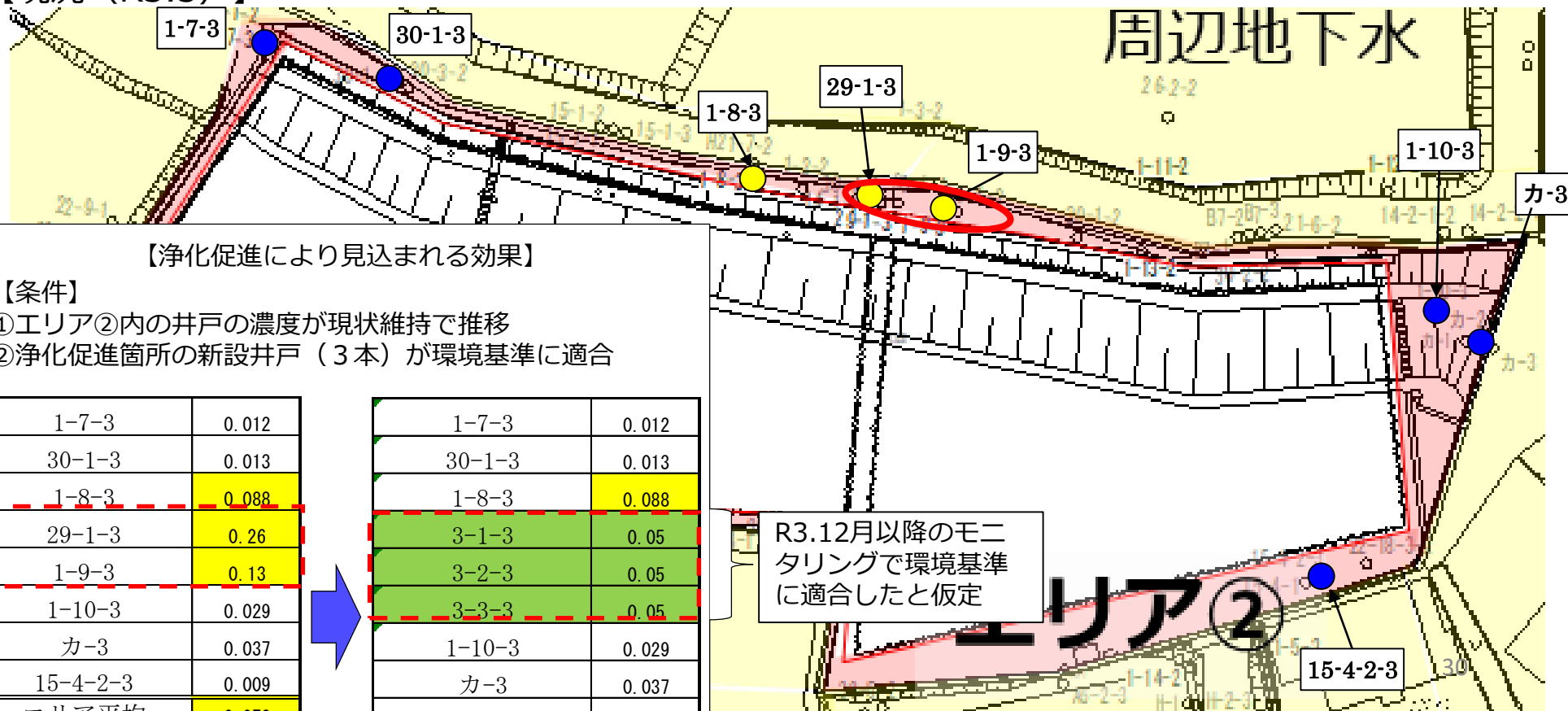
R3.12月以降のモニタリングで環境基準に適合したと仮定

- : 環境基準値の10倍(0.5mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値を満たしている井戸

# 1-3-9 浄化促進により見込まれる効果について（エリア② 第3帯水層）

掘削及び揚水浄化により汚染残留箇所の新設井戸がすべて環境基準に適合した場合、エリア②（第3帯水層）も環境基準（年平均値）に適合することが見込まれる。

【現況（R3.5）】



【浄化促進により見込まれる効果】

【条件】

- ① エリア②内の井戸の濃度が現状維持で推移
- ② 浄化促進箇所の新設井戸（3本）が環境基準に適合

1-7-3	0.012
30-1-3	0.013
1-8-3	0.088
29-1-3	0.26
1-9-3	0.13
1-10-3	0.029
カ-3	0.037
15-4-2-3	0.009
エリア平均	0.072

1-7-3	0.012
30-1-3	0.013
1-8-3	0.088
3-1-3	0.05
3-2-3	0.05
3-3-3	0.05
1-10-3	0.029
カ-3	0.037
15-4-2-3	0.009
エリア平均	0.036

R3.5 エリア平均

環境基準に適合

- : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値を満たしている井戸

## 2 協議事項

### 2-1. 水処理施設の撤去について

## 2-1-1 水処理施設の運用について

各施設とも運用期間内は処理能力の範囲内で最大限揚水浄化を実施できるよう運用する。

### ①水処理施設（旧施設）

旧施設（60m<sup>3</sup>/日）は令和4年3月に撤去工事に着手する。

撤去までの期間（6カ月間）は遮水壁外の環境基準を超過する井戸の揚水浄化を行う。

### ②水処理施設（新施設）

浄化促進範囲（揚水実績量：10.15m<sup>3</sup>）の揚水浄化に使用する。

第7回委員会において水処理施設（新施設）の撤去について報告する。（9カ月は浄化予定）

【水処理施設の運用イメージ】

旧施設 撤去着手 (R4.3)      新施設 撤去着手 (R4.6)

	処理能力	運用	R3.10~R3.11	R3.12~R4.3	R4.4~R4.6
旧施設	60m <sup>3</sup> /日	【R3.10~R4.3】 環境基準を超過する 井戸の揚水浄化に使用  【R4.3 撤去着手】	環境基準 超過井戸  33.68m <sup>3</sup> (見込※)		
新施設	19m <sup>3</sup> /日	【R3.10~R3.11】 環境基準を超過する 井戸の浄化に使用  【R3.12~R4.6】 浄化促進範囲の井戸 の揚水浄化に使用  【R4.6 撤去着手】			

※R2の揚水量実績  
に基づく見込量



## 2-1-2 遮水壁北側近傍における揚水量（見込）について（第2帯水層）

【浄化促進範囲（第2帯水層）の揚水量（実績）】

揚水量（R3.3実績）は「0.15m<sup>3</sup>」。  
井戸仕上げ時の揚水量を確認して運用する。

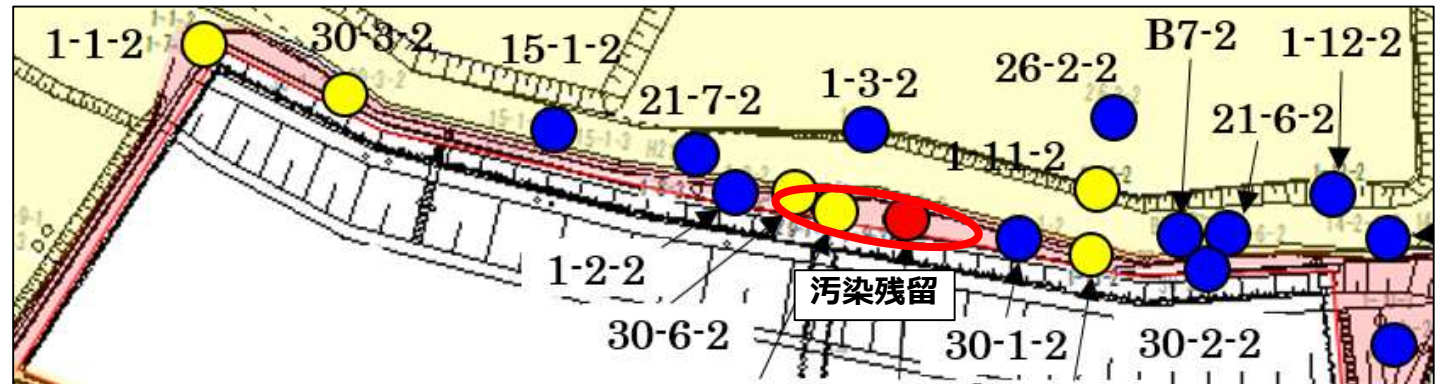
【揚水量（実績）】

第2帯水層（R3.3）

1-1-2	0.4 m <sup>3</sup>
30-3-2	8.2 m <sup>3</sup>
15-1-2	4.3 m <sup>3</sup>
21-7-2	5.6 m <sup>3</sup>
1-2-2	2.2 m <sup>3</sup>
30-6-2	0.1 m <sup>3</sup>
30-4-2	0.02 m <sup>3</sup>
1-4-2	0.03 m <sup>3</sup>
1-3-2	- m <sup>3</sup>
30-1-2	1.6 m <sup>3</sup>
1-11-2	1.98 m <sup>3</sup>
26-2-2	- m <sup>3</sup>
1-13-2	2.7 m <sup>3</sup>
B7-2	0.3 m <sup>3</sup>
30-2-2	0.9 m <sup>3</sup>
21-6-2	2.5 m <sup>3</sup>
1-12-2	- m <sup>3</sup>

浄化促進範囲  
の揚水量（実績）

0.15m<sup>3</sup>



- : 環境基準値の10倍(0.5mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸
- : 環境基準値を満たしている井戸

## 2-1-3 遮水壁北側近傍における揚水量（見込）について（第3帯水層）

【浄化促進範囲（第3帯水層）の揚水量（実績）】

揚水量（R2.3実績）は「10m<sup>3</sup>」。  
井戸仕上げ時の揚水量を確認して運用する。

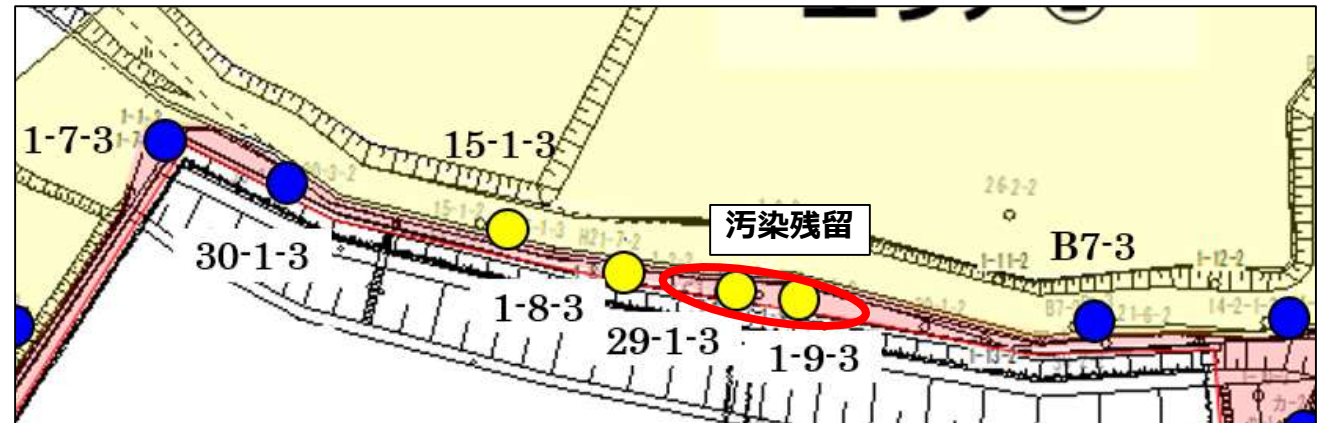
【揚水量（実績）】

第3帯水層（R2.3）

1-7-3	1.1 m <sup>3</sup>
30-1-3	6.6 m <sup>3</sup>
15-1-3	4.5 m <sup>3</sup>
1-8-3	3.4 m <sup>3</sup>
29-1-3	8.4 m <sup>3</sup>
1-9-3	1.6 m <sup>3</sup>
B7-3	- m <sup>3</sup>
1-10-3	2.6 m <sup>3</sup>
14-2-2-3	- m <sup>3</sup>
カ-3	1.6 m <sup>3</sup>

浄化促進範囲  
の揚水量（実績）

10m<sup>3</sup>



● : 環境基準値(0.05mg/L)を超過した井戸  
● : 環境基準値を満たしている井戸

【揚水量（実績）】

第2帯水層	0.15 m <sup>3</sup>
第3帯水層	10 m <sup>3</sup>
合計	10.15 m <sup>3</sup>

# 2-1-4 水処理施設の撤去時期（見込）について



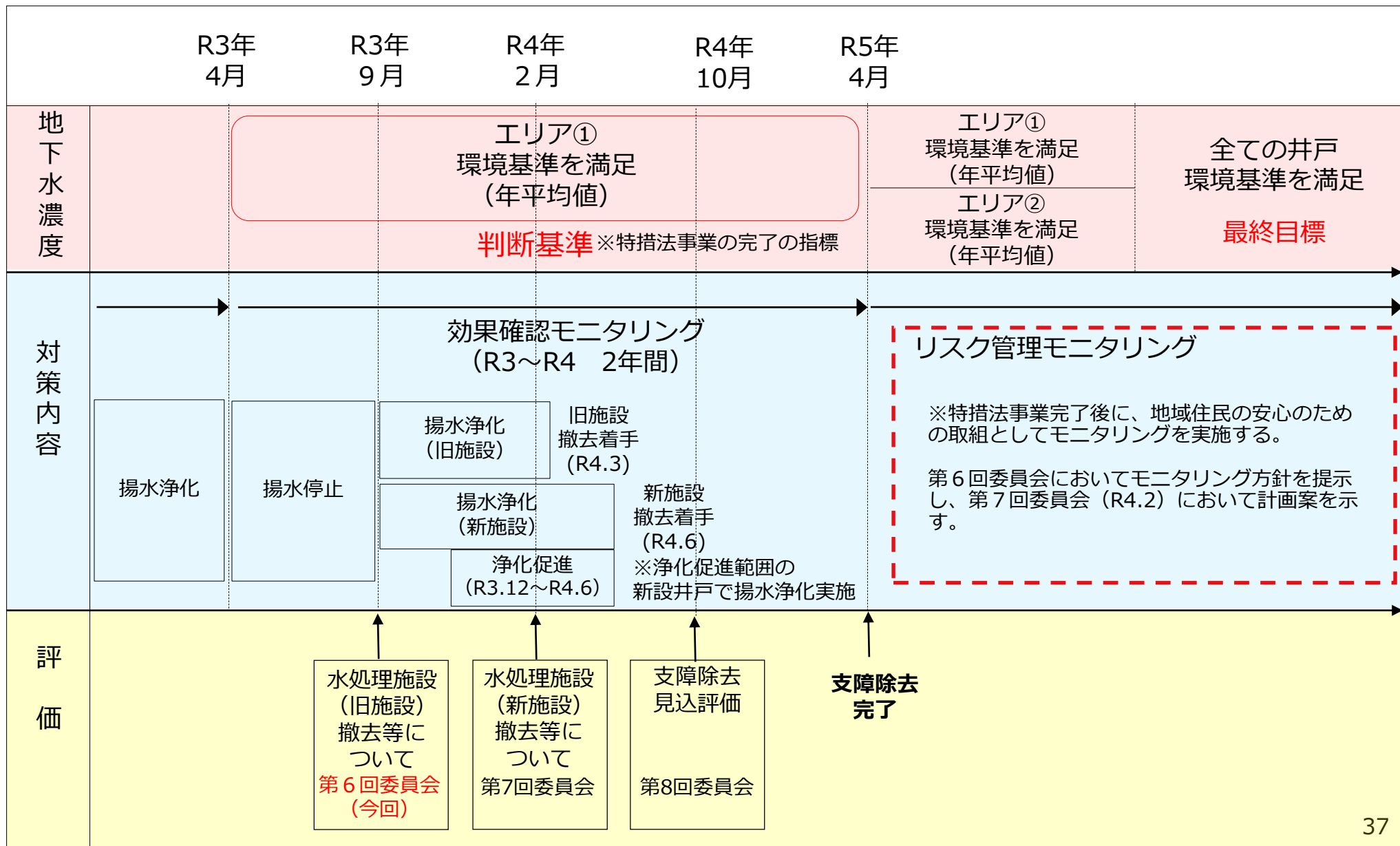
対策スケジュール	令和3年度									令和4年度									令和5年度以降							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
汚染範囲の掘削・井戸設置 盛土（廃棄物撤去エリア） 借地復旧工事								掘削・井戸設置①										盛土（廃棄物撤去エリア）④		⑤借地復旧工事						
水処理施設 （旧施設 60m <sup>3</sup> /日）	揚水停止							揚水浄化					②撤去工事													
水処理施設 （新施設 19m <sup>3</sup> /日）	揚水停止							揚水浄化		浄化促進範囲の揚水浄化			③撤去工事													
モニタリング	効果確認モニタリング																							モニタリング		

## 2 協議事項

### 2-2. 支障除去等事業完了後のモニタリングについて



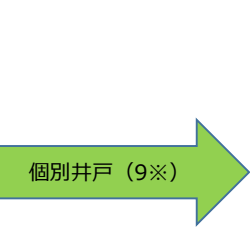
## 2-2-1 支障除去等事業完了後のモニタリングについて

令和5年度以降に実施する「リスク管理モニタリング」について、計画案の策定にあたり基本的な考え方（案）を示す。




# 2-2-2 支障除去等事業完了後のモニタリングの考え方について

対象物質：1,4-ジオキサン

	効果確認モニタリング		リスク管理モニタリング		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降		備考
<p>エリア① (遮水壁外、地下水)</p>		<p>エリア平均 (75)</p> 	<p>エリア平均 環境基準適合</p> <p>特措法事業終了 の判断基準</p>	<p>個別井戸 環境基準適合</p> <p>最終目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアの年平均値が環境基準を満足（判断基準）した時点で環境基準に適合する井戸はモニタリングを廃止する。（以降、当該井戸は最終の測定値を適用してエリアの年平均値を算出する。）</li> <li>・以降のモニタリングで環境基準に適合する井戸を順次廃止する。</li> <li>・地下水下流側への影響を確認する地点を既存井戸から選定する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">40ページ</p> <p>※令和3年5月時点で環境基準超過が見られる井戸数であり、実際は令和4年度末時点のモニタリング結果を基にモニタリングを継続する井戸を決定する。</p>
<p>エリア② (遮水壁外、地下水)</p>		<p>エリア平均 (21)</p> 		<p>個別井戸 環境基準適合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアの年平均値が環境基準を満足した時点で環境基準に適合する井戸はモニタリングを廃止する。（以降、当該井戸は最終の測定値を適用してエリアの年平均値を算出する。）</li> <li>・以降のモニタリングで環境基準に適合する井戸を順次廃止する。</li> <li>・エリア①で設定する「地下水下流側への影響を確認する地点」において環境基準超過が見られた場合に確認を行う地点を既存井戸から選定する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">40ページ</p> <p>※令和3年5月時点で環境基準超過が見られる井戸数であり、実際は令和4年度末時点のモニタリング結果を基にモニタリングを継続する井戸を決定する。</p>

## 2-2-3 支障除去等事業完了後のモニタリングの考え方について

	効果確認モニタリング		リスク管理モニタリング	対象物質：1,4-ジオキサン
	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降	備考
河川水 (嘉例川、員弁川)	上流(2)、下流(2)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川への影響確認</li> <li>・H23以降、環境基準に適合。</li> <li>・令和4年度末時点の状況をふまえて、令和5年度以降のモニタリングの継続を検討する。</li> </ul>
エリア外 (遮水壁外、地下水)	個別井戸(9)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域への影響確認。(嘉例川北側及び事業地東側)</li> <li>・測定開始(H22)から環境基準に適合。</li> <li>・令和4年度末時点で引き続き環境基準に適合していることを確認した後、モニタリングを廃止する。</li> </ul>
遮水壁内	(41)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.12以降、管理値(0.5mg/L)に適合。</li> <li>・令和4年度末時点で引き続き管理値に適合していることを確認した後、モニタリングを廃止する。</li> </ul>

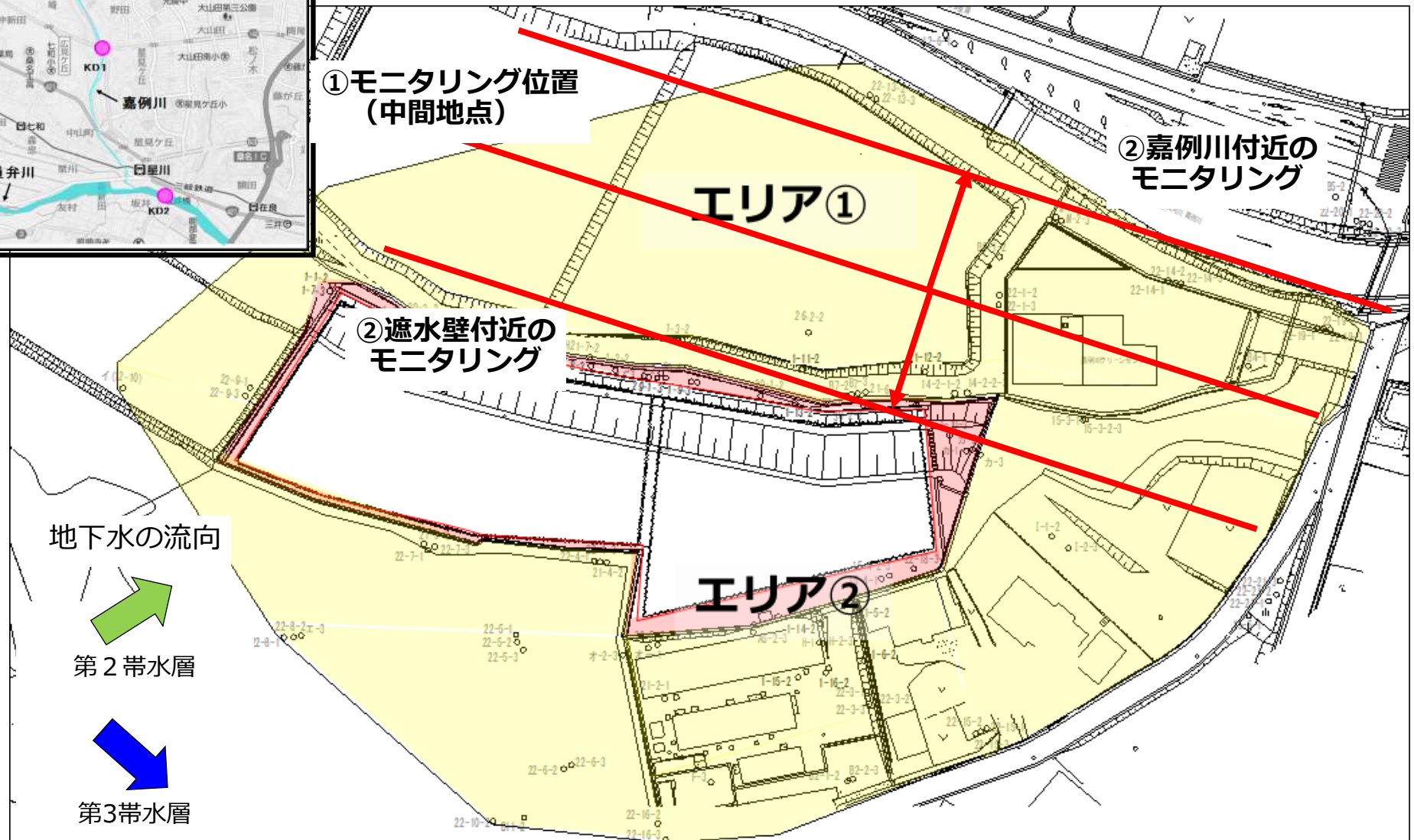
## 2-2-3 支障除去等事業完了後のモニタリングについて

地下水下流側のモニタリング例（第2帯水層）

①事案地と嘉例川の中間の位置モニタリングを実施。

②①において環境基準超過がみられた場合、嘉例川付近及び遮水壁付近の井戸においてモニタリングを実施する等の調査を実施する。

※地点は今後のモニタリング結果をふまえて決定。





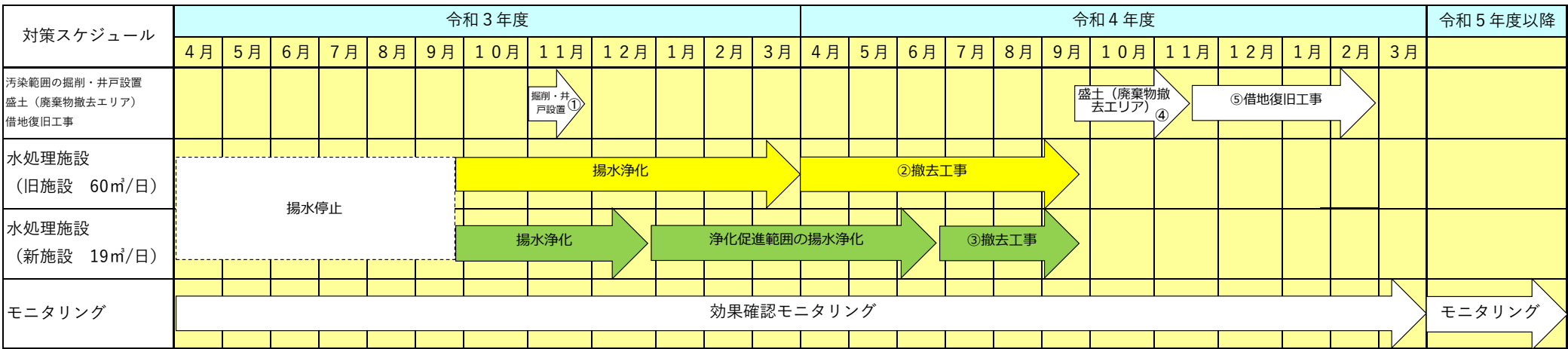
### 3 今後のスケジュール

### 3 今後のスケジュール

支障除去等事業の完了に向けて対策を進めるとともに、下記のとおり効果検証委員会を開催する。

第7回委員会（令和4年2月）・・・①支障除去状況について  
 ②水処理施設（新施設）の撤去について  
 ③令和5年度以降のモニタリングについて

第8回委員会（令和4年10月）・・・①支障除去の確認について  
 ②支障除去等事業の完了の見込



- 第6回委員会（R3.9.14）
  - ・支障除去状況について
  - ・水処理施設（旧施設）撤去等について
  - ・掘削箇所の土壌及び水質分析結果報告
  - ※必要に応じて委員会開催
- 第7回委員会（現地開催）
  - ・支障除去状況について
  - ・水処理施設（新施設）の撤去等について
  - ・令和5年度以降のモニタリングについて
  - ※掘削範囲のモニタリング結果を委員に報告
- 第8回委員会
  - ・支障除去の確認
  - ・支障除去等事業の完了の見込